

スタンドアロン NVR シリーズ

日本語ユーザー・マニュアル

2.1.x.59

目次

1.0	はじめに	6
	安全にお使いいただくために	8
	本製品をお使いになる前に	13
1.1	ハードウェアの仕様	14
	DS-4200Pro(+)シリーズ	14
1.2	LED インジケーター	15
	DS-4200Pro(+)シリーズ	15
1.3	デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I	17
2.0	NVR の準備	18
2.1	クライアント PC の要求仕様	18
2.2	NVR への接続	19
	2.2.1 クイック・ガイド	19
	2.2.2 EZ Search のインストール	19
	2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール	27
	2.2.4 ユーザー・マニュアル	28
	2.2.5 Browse CD	28
	2.2.6 ライブ表示の実行	29
2.3	その他	31
	2.3.1 ファイルの改ざんチェック(NVRCheck)	31
	2.3.2 エクスポートした録画データの再生(NVRPlayer)	33
3.0	PC での操作	36
3.1	ライブ表示	36
	3.1.1 ライブ表示モードの選択	36
	3.1.2 ライブ表示の主な機能	37

3.1.3 オプション(映像ウィンドウ上の右クリック)	50
3.1.4 マルチ・サーバー	51
3.1.5 ダイナミック E-map 機能	52
3.1.6 スマートサーチ機能	61
3.2 録画再生	65
3.2.1 録画再生の準備	65
3.4.2 録画再生の主な機能	68
3.2.3 ファイルのエクスポート	71
3.3 映像ファイルの再生	73
3.3.1 Windows ネットワーク	73
3.3.2 FTP サービス	76
4.0 ローカル・ディスプレイでの操作	77
4.1 NVR へのログイン	77
4.1.1 匿名ログイン	78
4.1.2 バーチャル・キーボード	79
4.3 ライブ表示	80
4.3.1 ライブ表示モードの選択	80
4.3.2 ライブ表示の主な機能	81
4.3.3 オプション (映像表示の右クリック)	85
4.3.4 マルチサーバー	89
4.4 録画再生	89
4.4.1 録画再生の手順	89
4.4.2 録画再生の主な機能	94
4.4.3 オーディオ再生	96
4.4.4 ファイルのエクスポート	97
4.4.5 スナップショット	99

4.5 その他	100
3.5.1 ローカル・ディスプレイのスクリーンショット	100
4.5.2 システムのアップグレード	100
4.5.3 USB バックアップ	100
5.0 設定	102
5.1 カメラ設定	102
5.1.1 カメラ設定	102
5.1.2 映像設定	108
5.1.3 カメラの状態	110
5.2 録画とイベント	111
5.2.1 録画モード	111
5.2.2 録画スケジュール	112
5.2.3 イベントと動作の管理	114
5.2.4 詳細設定	121
5.2.5 イベントのスケジュール	122
5.2.6 Eメール	124
5.3 ディスク管理	125
5.3.1 ディスク管理	125
5.3.2 ストレージ管理	125
5.3.3 ファイル共有サービス	126
5.3 クラウド	128
5.4.1 Dropbox の設定	128
5.4.2 Dropbox サーバーへの共有ファイルの移動	129
5.4.3 設定の削除とオンライン同期	130
5.5 ネットワーク設定	131
5.5.1 ネットワークのセットアップ	131

5.5.2 ネットワーク・サービス.....	133
5.5.3 DDNS.....	134
5.6 管理.....	135
5.6.1 ユーザー管理.....	135
5.6.2 ログ・システム.....	137
5.6.3 設定の保存と読み込み.....	140
5.6.4 USB バックアップ.....	141
5.6.5 リモートバックアップ.....	144
5.6.6 外部 IO デバイス.....	145
5.6.7 UPS 管理.....	145
5.6.8 フェイルオーバー.....	147
5.6.9 SNMP.....	147
5.6.10 パトライト(Beta 版の機能です。).....	147
5.7 システム.....	148
5.7.1 デバイス情報.....	148
5.7.2 システムのアップグレード.....	149
5.7.3 言語.....	151
5.7.4 日付と時間.....	151
5.7.5 ブザー.....	152
5.7.6 再起動とシャットダウン.....	153

1.0 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

- 本製品は本書内で「NVR」または「DIGISTOR」と呼ばれます。
- 本ユーザーマニュアル（バージョン 2.1.x.59）は、DIGISTOR ファームウェアのバージョンにのみ適用されます。DIGISTOR が古いバージョンのファームウェアで稼働している場合は、応じたバージョンのユーザー・マニュアルをご覧ください。
- 本書は DIGISTOR のすべての機能について解説を行っております。特定の機種によっては、その機能をサポートしていない場合があります。

= 保証の範囲 =

- 弊社は、本製品によってもたらされた（直接・間接を問わない）損害について、あらゆる意味で本製品の価格を超える金銭的保証の責任を負わないものとします。
- 弊社は、誤った使用・用途・不当な修理や改造によって生じた故障や損傷、想定外の環境で使用した場合、いかなる保証の責任も負わないものとします。
- 弊社は、予告なく、本製品、ソフトウェア、文書のアップデートを行う権利を有するものとします。

※すべての特徴、機能等の製品仕様は予告なしに変更することがあります。



注意：

1. 貴重なデータを保護するため、定期的にバックアップを行ってください。弊社はデータの損失並びにデータの修復に関して、一切の責任を負わないものとします。
2. 返品または修理の際は、ご購入時と同じ梱包材を使って製品を発送してください。梱包の不備に起因する製品の破損について、弊社は責任を負いません。

安全にお使いいただくために

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼してください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。

- 放置せずにただちに電源を切り、販売店に連絡してください。



機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。



電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまる、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

不安定な場所に置かない



落下および転倒によるけがや事故の原因となります。

雷のときは工事、配線をしない



火災や感電の原因となります

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります

ぬれ手禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、乗ねるなど

●コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

アースを確実に取り付ける



アースは確実に行って使用してください。アースを取り付けないと、故障や漏電による感電の原因となります。

●販売店に相談してください
(アース工事は本製品の価格には含まれておりません)。

電源を入れたまま工事、配線をしない



火災や感電の原因となります

電源コードは、必ずプラグ本体を持った抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。

●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

振動や強い衝撃を与えない



火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。



注意

通気孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

機器設置の注意点

● 取扱い説明書を読む

製品を実際にご利用になる前に、必ずユーザー・マニュアルをお読みください。

● 電源

必ず製品付属の AC アダプターをご利用ください(※該当機種のみ)。

● 修理

技術的に不明な点は販売店にお問い合わせください。事故、故障の原因になるので、絶対に分解しないでください。

● 警告

漏電、感電の恐れがあるため、雨がかかる場所、湿度の高い場所での運用はおやめください。また本製品の上に何も置かないでください。

== 安全にお使いいただくために ==

1. 本製品は外気温 0-40 度、湿度 0-85%の環境下でご利用いただけます。通気の良い場所に設置してください。
2. 故障の原因になりますので、本製品は定められた定格の電圧下でお使いください。
3. 直射日光が当たる場所、化学薬品の近くに置かないでください。また設置する場所の温度と湿度が適切であることを必ず確認してください。
4. 運用の障害や、過熱の原因になるため、本製品の上にものを置かないでください。
5. 本製品を水の近くに設置しないでください。

6. 落下やそれに伴う破損の危険性があるため、不安定な場所に本製品を設置しないでください。
7. 本製品に対し、正しい電圧が供給されていることを確認してください。電圧の状態がわからない時は、販売店にお問い合わせください。また、安定した電圧を供給するため、UPS の設置を推奨します。
8. レコーダー内部の時計は日を追うごとにずれが生じます、定期的(1-2 カ月)に時刻の補正を行うか、NTP サーバーを設置し同期を行うことを推奨します。
9. 電源コードの上にものを置かないでください。
10. 感電その他の危険があるため、本製品を分解、修理しないでください。故障と思われた時は販売店にご相談ください。
11. システム内のファンには決して触れないでください。重大な負傷を招く恐れがあります。

規制の通知



FCC（連邦通信委員会）通知

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス B デジタル機器の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地区で使用する際に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、および放射することがあるため、指示に従わずに取り付けたり使用したりした場合は、有害な干渉を発生させる恐れがあります。ただし、特定の設置環境で干渉が起きないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信を妨害していることを、機器のオフ/オン切り替えにより確認できる場合、次のいずれかを行って妨害に対処することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を移動する。
- 装置と受信機の距離を離す。
- この機器を受信機が接続されている回線と別のコンセントに接続する。
- 販売代理店か、ラジオ、テレビに詳しい技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利が無効になることがあります。

シールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。



CE 通知

クラス B のみ。

本製品をお使いになる前に

本製品を開梱後、すべての同梱品が、全て揃っているかご確認ください。
また、準備中のトラブルを避けるため、必ずマニュアルの内容をご確認ください。

1.1 ハードウェアの仕様

DS-4200Pro(+)[®]シリーズ



①LED インディケータ : LAN / eSATA / HDD1 / HDD2 / HDD3 / HDD4

②電源ボタン

③USB バックアップ・ボタン

④USB 2.0 x1 (自動バックアップで使用)

⑤USB 2.0 x 2

⑥HDD1

⑦HDD2

⑧HDD3

⑨HDD4

⑩ギガビット LAN

⑪USB 2.0 x 4

⑫eSATA x 2 (拡張用)

⑬VGA x 1

⑭HDMI x 1

⑮DI/DO (入力 4 / 出力 2)

※上から下に : Vcc5V / GND / DI-1 / DI-2 / DI-3 / DI-4 / DO-1 / DO-2

⑯リセット・ボタン

⑰電源コネクタ

⑱K ロック用スロット

1.2 LED インジケーター

DS-4200Pro(+)[®]シリーズ



図 2-5 : DS-4200Pro(+)[®]シリーズの正面と RJ-45 ポート

正面の LED の状態 :

LED	LED の色と状態	意味
LAN	消灯	LAN が接続していない状態
	オレンジ	LAN 接続が確立している状態
	オレンジ点滅	LAN にアクセスしている状態
eSATA	消灯	データの転送がない状態
	オレンジ点滅	eSATA 機器にアクセスしている状態
HDD1	消灯	HDD が装着されていない状態
HDD2	グリーン	HDD がアクセス可能な状態
HDD3	グリーン点滅	HDD のデータにアクセスしている状態
HDD4	レッド	HDD が故障して取り外しが必要な状態
電源	消灯	電源オフの状態
	グリーン	電源オンの状態
バックアップ	消灯	USB 機器がない状態
	ブルー	USB 機器がアクセス可能な状態
	ブルー点滅	USB 機器へデータがコピーされている状態
	レッド	バックアップでエラーが発生した状態

背面 RJ-45 の LED の状態 :

LED	LED ポジション	LED の色と状態	意味
LAN	Link/Activity (右側)	消灯	LAN が接続していない状態
		イエロー	LAN 接続が確立している状態
		イエロー点滅	LAN にアクセスしている状態
LAN	Speed (左側)	消灯	10M / 100M 接続か未接続の 状態
		オレンジ	1000M 接続の状態

注意 :

- * USB バックアップを使用する時は、バックアップ・ボタンを 3 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオフにする時は電源ボタンを 2 秒以上、押してください。
- * NVR の電源をオンにする時は電源ボタンを 3 秒以上、押してください。

1.3 デュアル・モニター仕様：HDMI/VGA/DVI-I

DS-4200Pro(+)
シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)
シリーズ、DS-8200-RM Pro(+)
シリーズは映像出力用に HDMI と VGA ポートを持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力することが可能です。

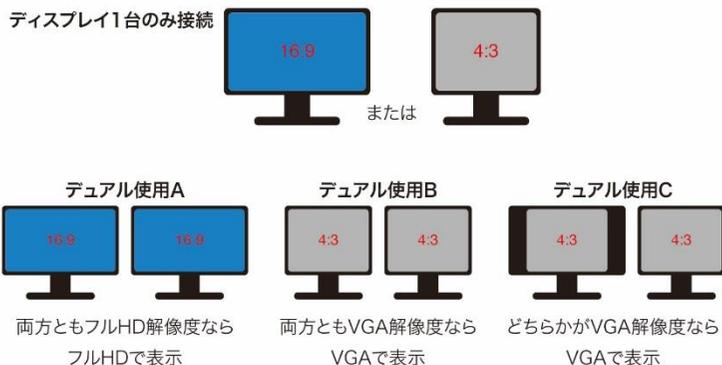
※RM は特注品になります。

DS-1100Pro(+)
シリーズと DS-2100Pro(+)
シリーズは映像出力用に HDMI と DVI-I ポートを持ちます。その両方にローカル・ディスプレイを接続し、同時に映像を出力することが可能です。

組み合わせ A：ディスプレイが 2 台ともフル HD（1920 x 1080）解像度の場合、どちらもフル HD で表示されます。

組み合わせ B：ディスプレイが 2 台とも VGA（1024 x 768）解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。

組み合わせ C：ディスプレイの 1 台がフル HD、もう 1 台が VGA 解像度の場合、どちらも VGA で表示されます。



2.0 NVR の準備

2.1 クライアント PC の要求仕様

DIGISTOR に接続して使用する PC に最低限必要な仕様は以下の通りです。

- **オペレーティング・システム**

Microsoft Windows 7 Professional / 8.1 Professional
(32-bit または 64-bit) / Windows 10 Professional

- **ブラウザ**

MicrosoftR Internet Explorer 10.0 以降 (32-bit)

- **CPU**

カメラ 16 台以下 : IntelR Dual core CPU 3.0 GHz 以上
カメラ 16 台超 : IntelR i5/i7 CPU 3.3 GHz 以上

- **ネットワーク**

100MB イーサネット (ギガビット・イーサネット推奨)
注意 : カメラと NVR はギガビット・スイッチに接続してください。

- **メモリ**

カメラ 16 台以下 : DDR3 4G 以上
カメラ 16 台超 : DDR3 8G 以上

- **グラフィックカード**

AGP または PCI-Express、1024 x 768 以上の解像度、16 ビット・カラー、メモリ 1GB 以上。

注意 : グラフィック・アダプターは 1024 x 768 以上の解像度推奨。

- ・ディスプレイの DPI 設定の初期値は 96DPI です。
- ・DPI 値を変更する時はデスクトップを右クリックして
設定タブ > 詳細 > 一般

- **CD-ROM ドライブ**

CD-ROM 内のデータ閲覧時に必要になります。

- **Adobe Reader**

マニュアルなどを閲覧するのに必要です。

オーディオ機能を使用するためには PC にサウンド・カードが必要です。

2.2 NVR への接続

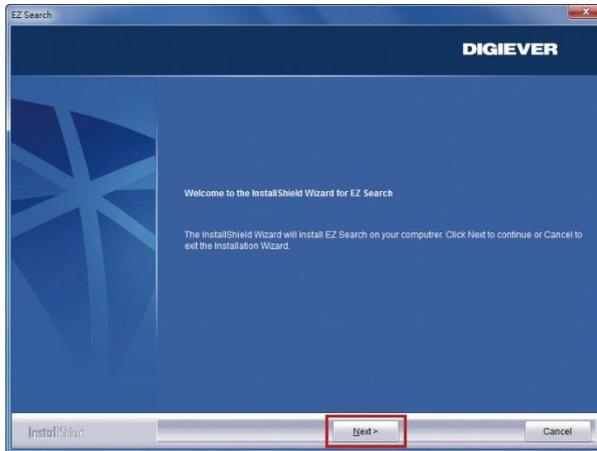
まず、クイック・ガイドやマニュアルを参照したり、ユーティリティをインストールするために PC に CD-ROM を入れます。

2.2.1 クイック・ガイド

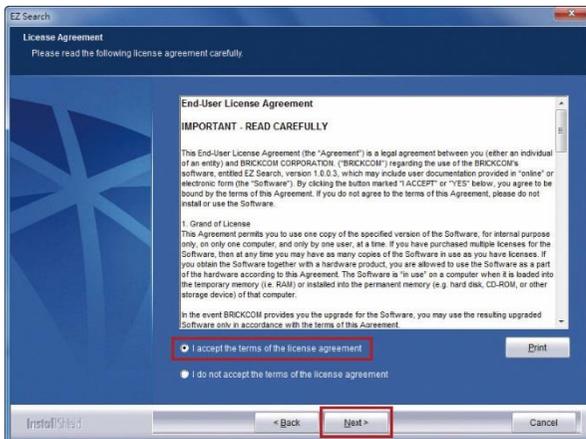
「Quick Guide」をクリックしクイックガイドをご覧ください。

2.2.2 EZ Search のインストール

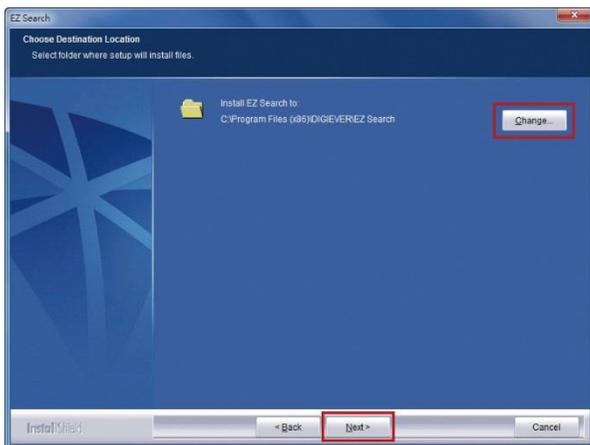
「Install EZ Search」をクリックして NVR 検索ユーティリティを PC にインストールします。



インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを続行します。



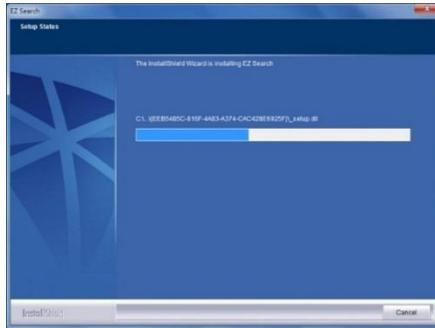
ライセンスの内容を確認の上、「Next」をクリックしてください。



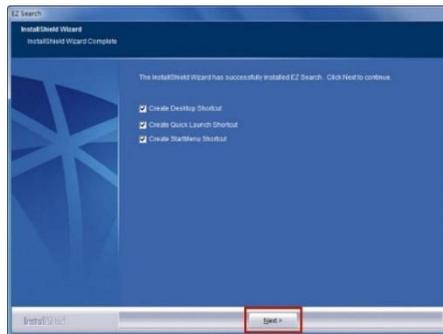
EZ Search は C:\Program Files (x86)\DIGIEVER\EZ Search にインストールされます。インストール先を変更したい時は「Change」をクリックして任意のフォルダにインストールすることも可能です。



インストール先のフォルダを指定したら、「OK」をクリックしてインストール作業を続行します。

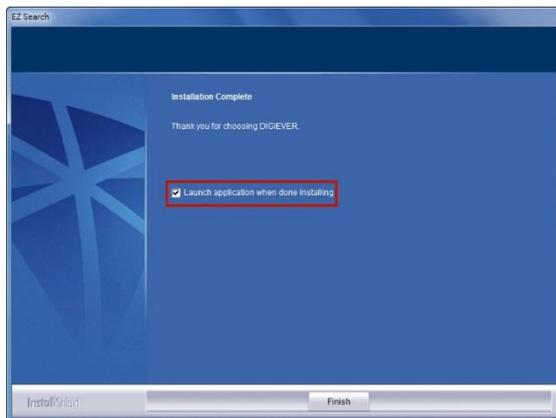


EZ Search のインストール中は、上記のようなウィンドウが表示されます。インストールが完了するまでお待ちください。

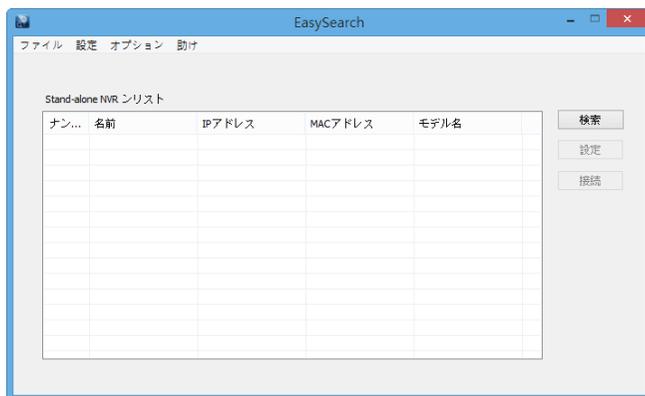


インストールが完了しました。

「Create Desktop Shortcut」「Create Quick Launch Shortcut」「Create Start Menu Shortcut」を選択して「Next」をクリックします。



「Launch application when done installing」にチェックを入れ、「Finish」をクリックすると EZ Search が起動します。

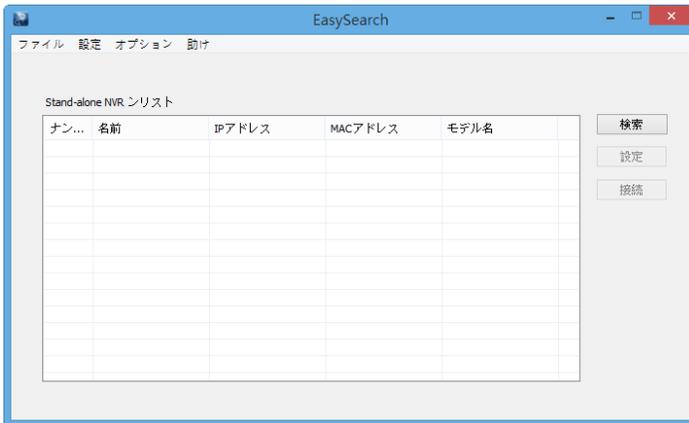


Easy Search は同一サブネット上の DIGISTOR を検出し、名称、IP アドレス、Mac アドレス、機種名を表示します。「Search」をクリックすると検出を開始します。

EZ Search の使い方

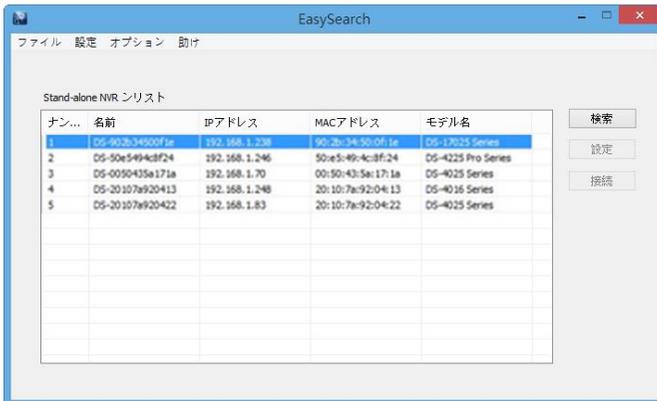
EZ Search 上の 3 つのツールバー

1. ファイル



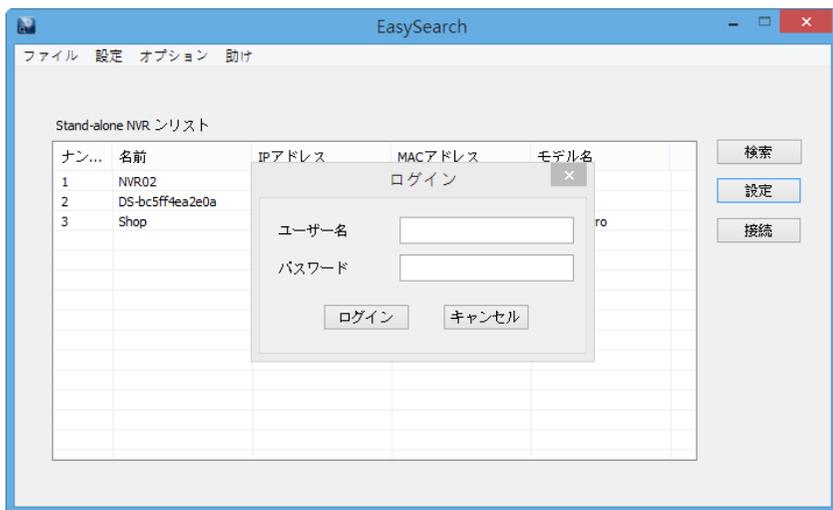
「Exit」をクリックすると EZ Search は終了します。

2. 設定

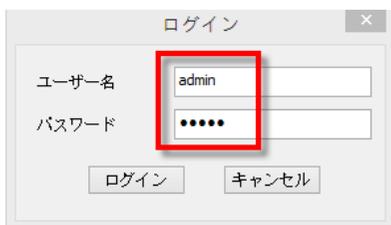


「Setting」をクリックすると NVR の UPnP またはネットワーク設定を変更することができます。

注意：設定を変更するためには、NVRの管理者IDとパスワードが必要です。

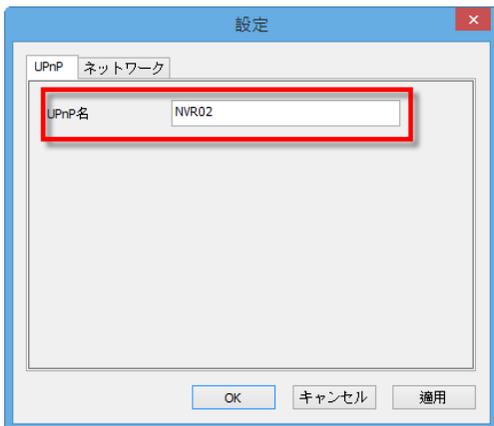


NVRの設定を変更する際、上記のようなダイアログが表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力します。入力後「Login」をクリックします。
※初期設定：ユーザー名、パスワード共に「admin」



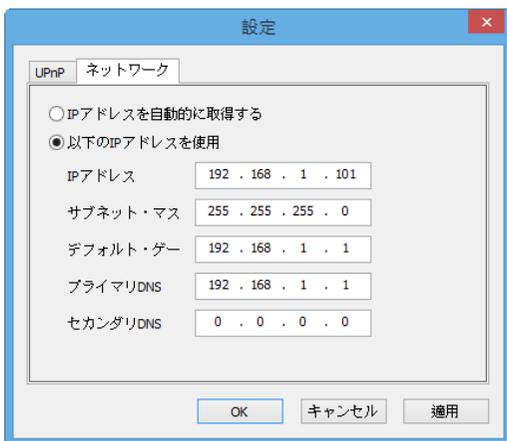
1) UPnP

UPnP(Universal Plug and Play)で表示される名称を変更できます。
変更後、「適用」をクリックして設定を適用してください。

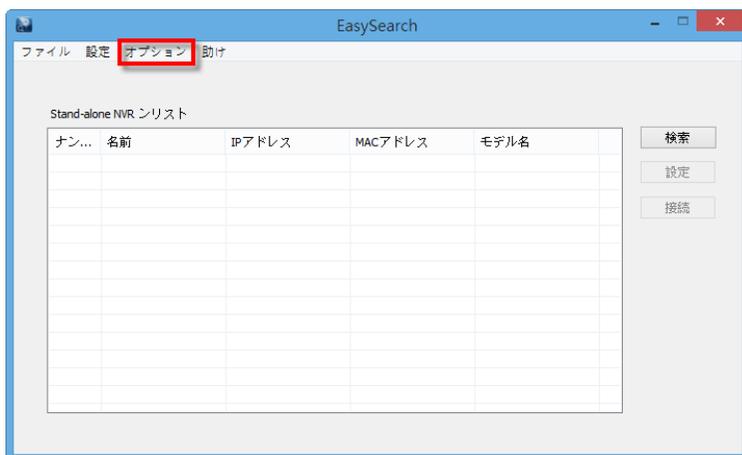


2) ネットワーク

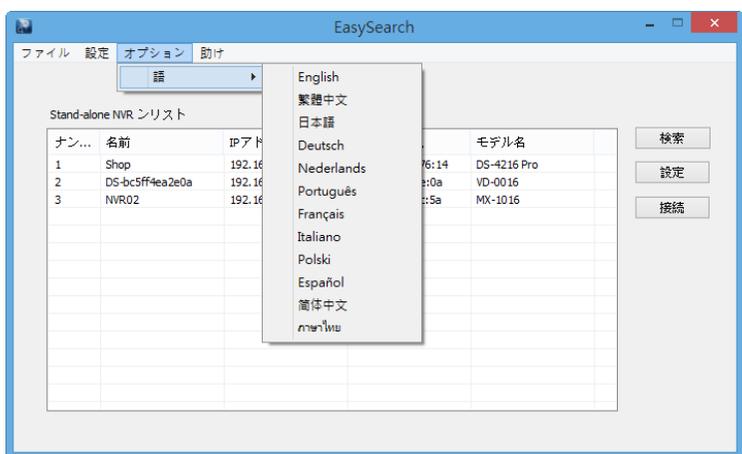
ネットワーク設定では、DHCP による自動取得と
固定 IP の設定による手動設定が選可能です。



3. オプション



表示言語を変更できます。



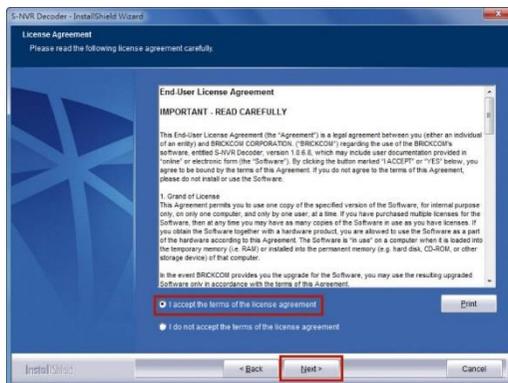
リストにある NVR を選んで「Connect」をクリックするか、NVR 名をダブルクリックすると、ブラウザが立ち上がり NVR に接続します。

2.2.3 S-NVR デコーダーのインストール

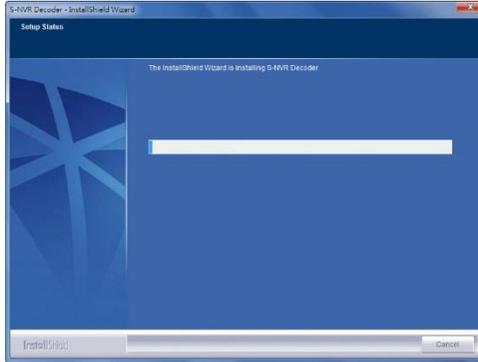
「Install S-NVR Decoder」をクリックし、以下の手順でインストールを行います。



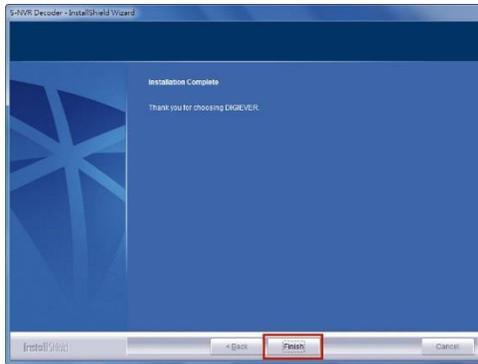
インストールウィザードが起動するので、「Next」をクリックしてインストールを開始します。



ライセンスの内容を確認した上で、「Next」をクリックしてください。



S-NVR デコーダーのインストールが開始されます。



インストールが完了したら「Finish」をクリックしてウィンドウを閉じます

2.2.4 ユーザー・マニュアル

「User Manual」をクリックしてマニュアルを参照できます。

2.2.5 Browse CD

Autorun.exe fileがあるフォルダを開く時は「Browse CD」をクリックしてください。

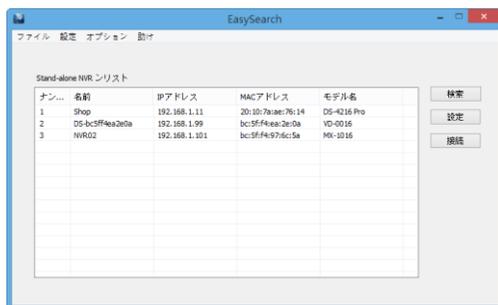
2.2.6 ライブ表示の実行

1.NVR への接続

EZ Search と S-NVR デコーダーのインストールが終わったら、ブラウザを用いて NVR に接続できます。

1) EZ Search を使って接続する

リストから NVR を選んで「Connect」をクリックする、またはリストをダブルクリックすることでブラウザが起動し、NVR へ接続します。



2) ブラウザを立ち上げてから接続する

NVR の IP アドレスを入力して接続してください。

2. ユーザー名とパスワードの入力

ユーザー名、パスワードを入力しログインを行ってください。

3. 表示言語の選択

ドロップダウンリストで言語を指定してください。

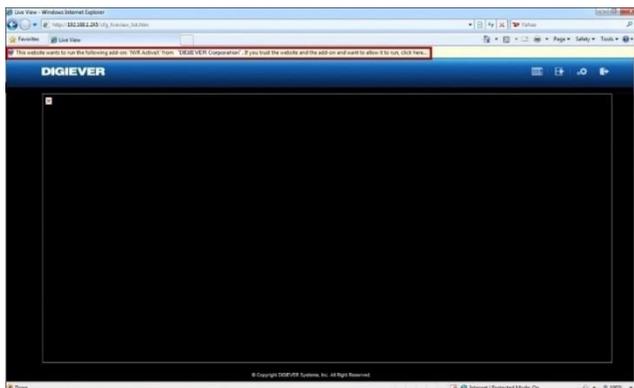


4. ActiveX Control 実行の許可

初めて NVR に接続した時、ActiveX Control をインストールする必要があります。

注意：NVR の IP アドレスをブラウザの「信頼済みサイト」に登録してください。

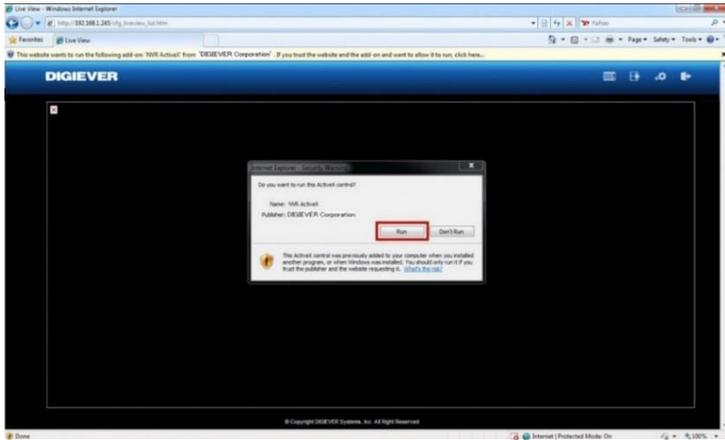
1) 「This website wants to run the following add-on: 'NVR ActiveX' from…」のメッセージを左クリックします。



2) 「Run Add on」を左クリックします。



- 3) ライセンス済み ActiveX control を使用するため「Run」をクリックします。



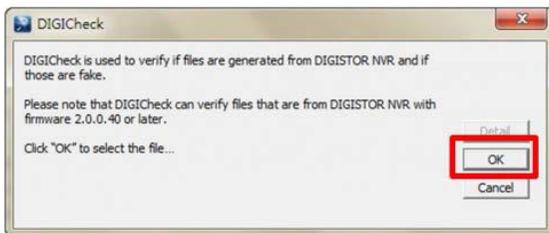
Active X をインストールすると PC を使用しモニタリングが行えます。
(※ネットワークの状況によっては、時間がかかることがあります。)

2.3 その他

2.3.1 ファイルの改ざんチェック(NVRCheck)

録画ファイル及び取得したスナップショットには自動的にウォーターマークがつき、NVRCheck を使用することで、不正なファイルでないかのチェックができます。

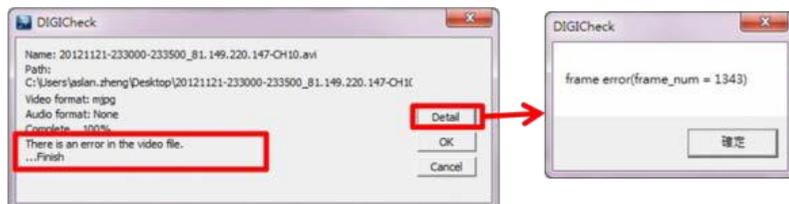
- ①ダブルクリックをしてプログラムを起動してください。
- ②確認を行いたいファイルを選択し OK をクリックしてください。



改ざんされていないファイルの場合、“No error occur.”と表示されます。



改ざんされたファイルの場合は、“There is an error in the video file.”と表示されます。



より詳しく情報が必要な場合は“Detail” ボタンをクリックし、内容を明記の上、販売店までお問合せ下さい。

2.3.2 エクスポートした録画データの再生(NVRPlayer)

NVRPlayer はエクスポートした録画データの再生を行うことができるプログラムです。

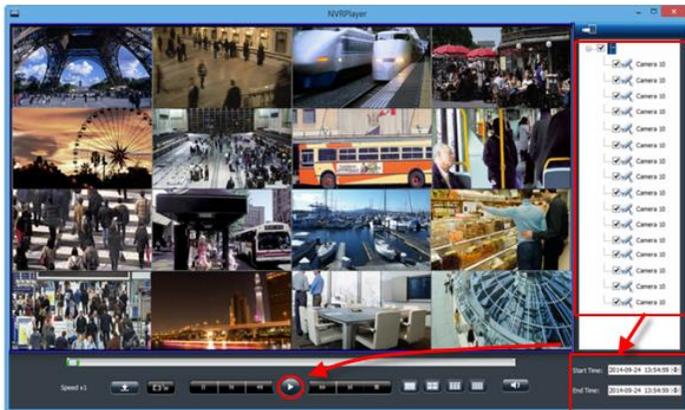
(※Windows へのインストールは必要ありません)



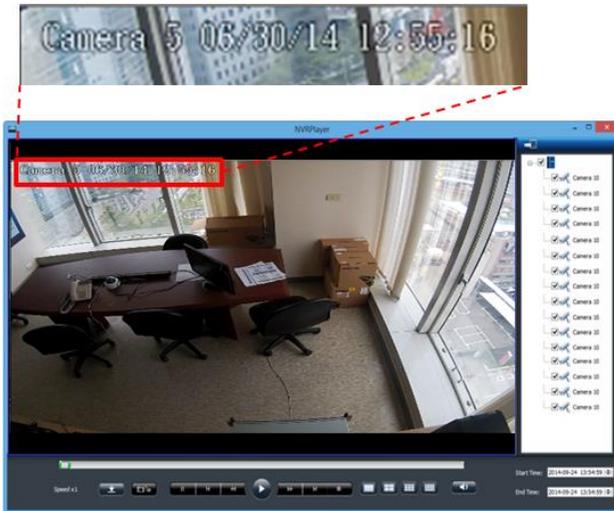
①実行ファイルを選択し、右クリック→管理者として起動を行ってください。



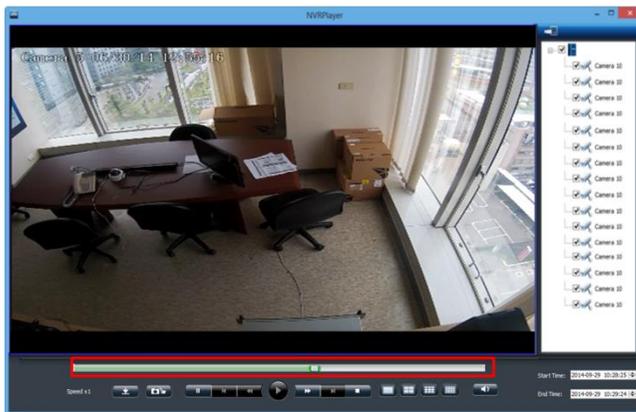
“Open” ボタンをクリックし  をクリックして再生を行いたいファイルを選択してください。(※映像のエクスポートの詳細は 4.3.5 を参照してください。)



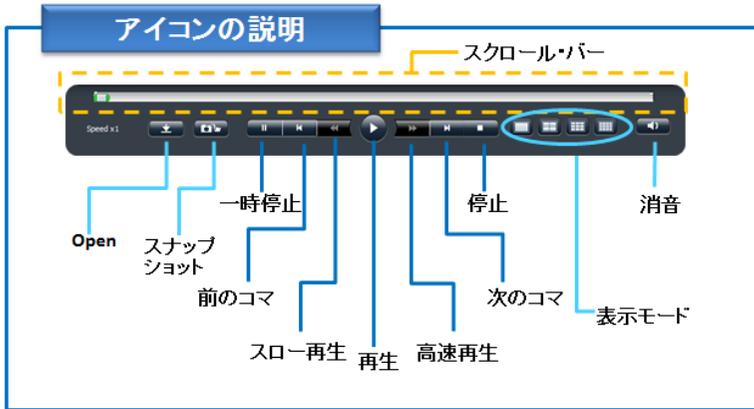
左上にタイムスタンプが表示され録画再生を行えます。



また、NVRPlayer の下部にあるタイムバーを動かすことで、選択したファイル内の時間検索が容易にできます。



アイコンの説明



- コマ送り機能

“一時停止” ボタンを押し “次のコマ” or “前のコマ” をクリックすることで、コマ送り/戻しが可能です。

- スナップショット

“スナップショット”をクリックすることで PC にスナップショットを保存できます。

3.0 PC での操作

3.1 ライブ表示

3.1.1 ライブ表示モードの選択



右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

3.1.2 ライブ表示の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内容
	カメラ名： 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式： M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ： カメラがオーディオ機能をサポートしている場合、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない場合は灰色で表示されます。
	イベント： イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態： カメラが録画中かそうでないかを表示します。
	青色の枠： ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2.NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

NVR のファームウェア・バージョンを表示します。

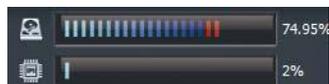


2) ディスク・CPU 使用量

ディスクと CPU の使用量を確認できます。

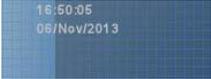


※使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されま
す。



※解像度や FPS、画質の設定によっては、CPU の使用量が大きくなるこ
とがあります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3.基本機能

アイコン	内 容
	<p>スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。ボタンをクリックするとウィンドウがポップアップします。</p> <p>1) クリップボード 画像をクリップボードにコピーします。コピーしたデータはペイント・ツールなどにペーストできます。</p> <p>2) 保存 画像を設定したフォルダに保存します。</p> <p>3) キャンセル スナップショットした画像を破棄します。</p> 
	<p>デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。</p>
	<p>表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。</p>
	<p>全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。</p>
	<p>全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。</p>
	<p>消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。</p>
	<p>日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。</p>

4. リモート IO



をクリックしてカメラの DI / DO（接点入出力）の状態を確認できます。



DI / DO 機能を持っていないカメラの場合は、右記のウィンドウが表示されます。



5. 表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示



12 分割表示



16 分割表示



20 分割表示



25 / 30 / 36 / 49 分割表示



5+1 分割表示



7+1 分割画面



12+1 分割画面



シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。ページ切り換え間隔は「オプション > 一般設定」で変更できます。

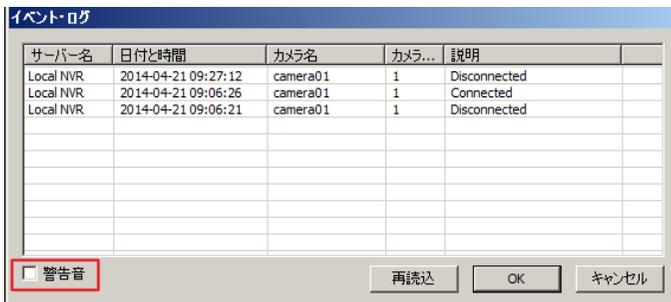
6.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。下記、そのアイコンの内容となります。(※対応カメラのみ)

アイコン	内容
	PTZ 操作 : 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。
	プリセット・ポジション : カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。
	光学ズームイン / アウト : 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。
	フォーカスの調整 カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。 .
	スケジュール PTZ (巡回モード) : 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。
	スケジュール PTZ (巡回モード) : 「Go」をクリックすると巡回が始まります。

7. イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。

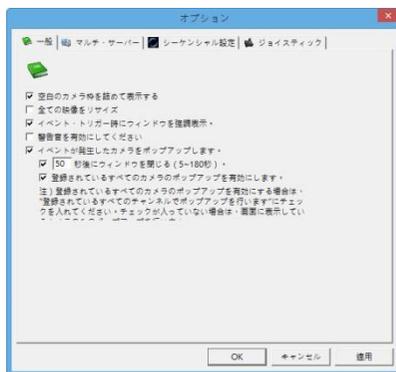


警告音

警告音を有効にしていたら、イベントを検知すると警告音が鳴ります（オプション > 一般設定からも警告音の有効 / 無効を切り換えられます）。

8. オプション

1) 一般設定



● **空白のカメラを詰めて表示する。**

この機能を有効にすると、表示しないカメラを詰めて (=間を詰めて) 表示します。

● **全ての映像をリサイズ**

映像ウィンドウ上で右クリックすると、「原寸サイズ」または「最大サイズ」に切り替えることができます。



● **イベント・トリガー時にウィンドウを強調表示**

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。



当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。

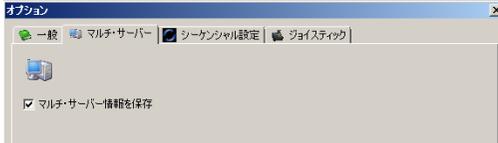


● **警告音を有効にしてください。**

この機能を有効にすると、カメラのイベント時に警告音が鳴ります。

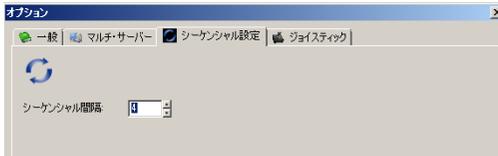
2) マルチ・サーバー設定

マルチ・サーバー情報を保存します。



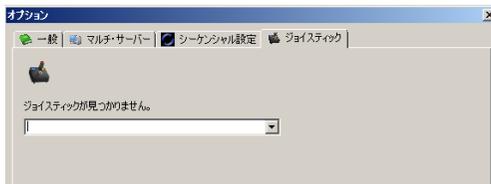
3) シーケンシャル・モード設定

ページの切替間隔（秒単位）を設定します。



4) ジョイスティック設定

PC に USB 接続されたジョイスティックで PTZ カメラを制御できます。ジョイスティックの機種を選択して「適用」をクリックしてください。



ステータス・バーに PTZ アイコンを持つカメラを操作できます。



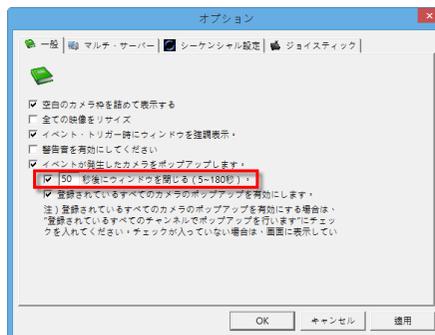
9. イベントが発生したカメラのポップアップ

この機能を有効にすると、イベント発生時に画像のポップアップを行い、いち早く状況の確認が出来ます。



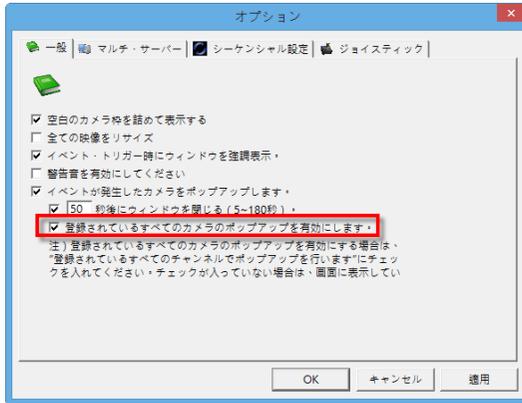
 ボタンをクリックするとユーザーはポップアップ画面を手動で閉じることができます。

___秒後にウィンドウを閉じる. (5-180秒)



自動的にポップアップを閉じる場合は、上記メニュー内の“ ”にて秒数の指定を行ってください（※デフォルトは 10 秒です）。

全てのカメラにおいてポップアップを行います。

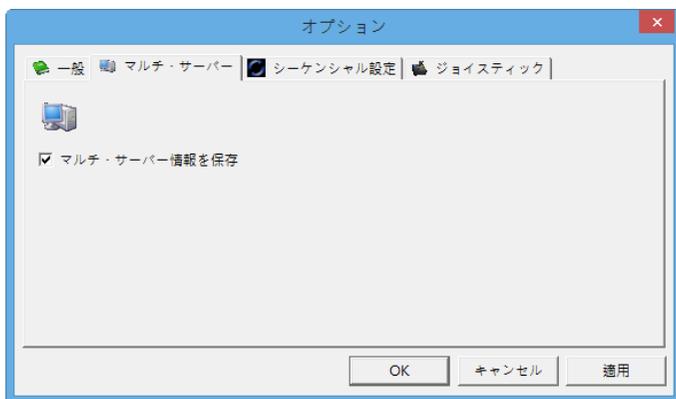


“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を有効にすると NVR のすべてのカメラにおいてイベント発生時ポップアップを行います（※表示されていないカメラも含む）。

⚠ 注意: NVR がポップアップ可能な画面数は 1 です。（ポップアップには最新のイベントの画像が表示されます。）

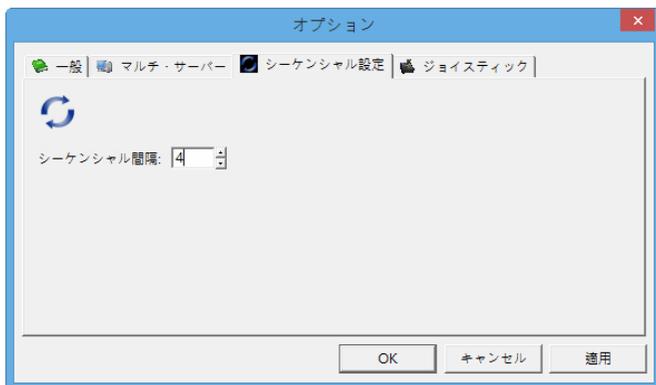
1) マルチサーバー:

マルチサーバーのカメラリストを保存します。



2) シーケンス設定:

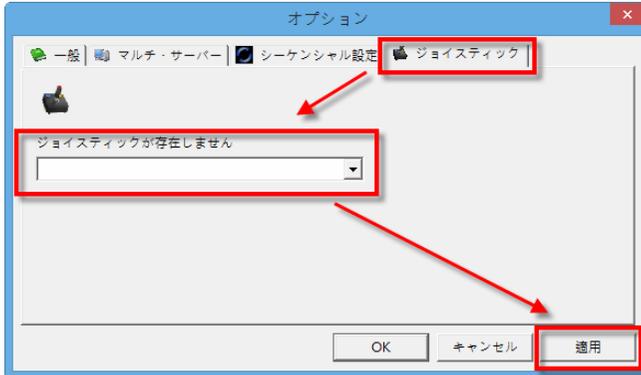
""ボタンをクリックすることで、シーケンス(順送り)の時間(秒)を指定できます。



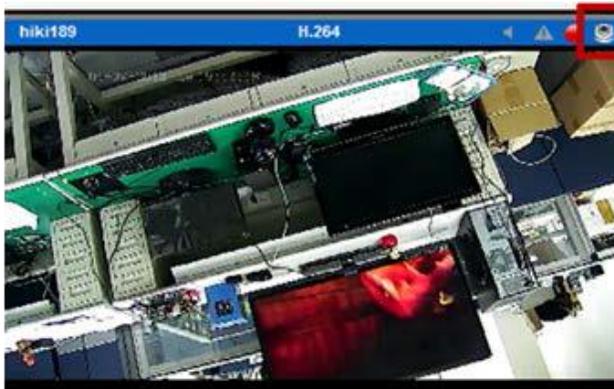
3) ジョイスティック

USBのジョイスティックを使用し操作が行えます。

※ジョイスティックの項目にて、該当するジョイスティックのモデル名を選択し適用を押してください。

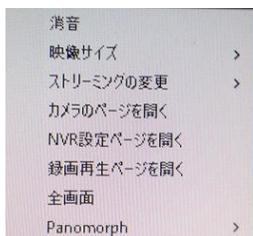


ジョイスティックは、PTZ をサポートしているカメラのみ対応しています。



⚠ 注意: ブラウザを使用してのジョイスティックにも対応しています。

3.1.3 オプション(映像ウィンドウ上の右クリック)



- 1.消音** : カメラの音声を OFF にします。
- 2.映像サイズ** : 原寸サイズ、または最大サイズ (ウィンドウに合わせる) を切り替え表示できます。
- 3.ストリーミングの変更** : 表示しているストリーミングの切り換えを行います。

※マルチ・ストリームに対応するカメラであれば、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質 (録画用)、ストリーム 2 は低画質 (小サイズのウィンドウ表示用) に使用します。



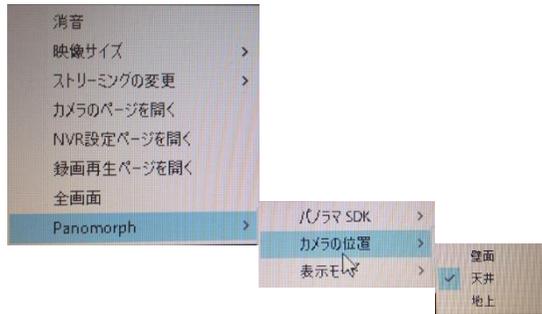
「ストリームを自動判別」が有効の場合、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

また、ストリームをサーバーから配信の場合は、常に NVR 経由でストリームを配信します。

- 4.カメラの設定ページ** : カメラの設定ページへ移動します。
- 5.NVR 設定ページ** : 新規ページで NVR のカメラ設定ページを表示します。
- 6.録画再生ページを開く** : 新規ページで録画再生ページを表示します。
- 7.全画面表示終了** : 全画面表示を終了します。
- 8.魚眼補正モード** : 全方位カメラ、または ImmerVision レンズを取り付けたカメラの映像を補正する際に使用できます。

(1) 全方位カメラの補正

a.Panomorph を選択しすると、カメラの位置及び、表示モードの変更ができます。



b.カメラの設置場所及び、表示したい画面を選択してください。

3.1.4 マルチ・サーバー

他の NVR を今アクセスしている NVR に登録して、まとめて管理できます。カメラ・リストの上にあるアイコンをクリックしてください。

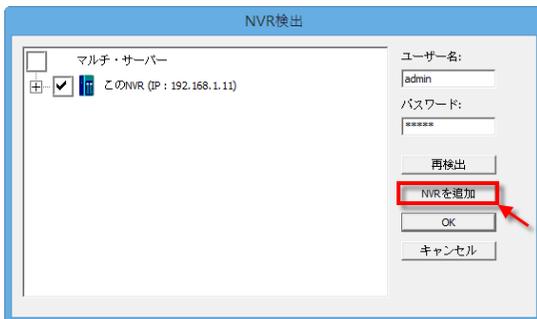


NVR がリストに表示されたら、追加したい NVR にチェックを入れ、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。



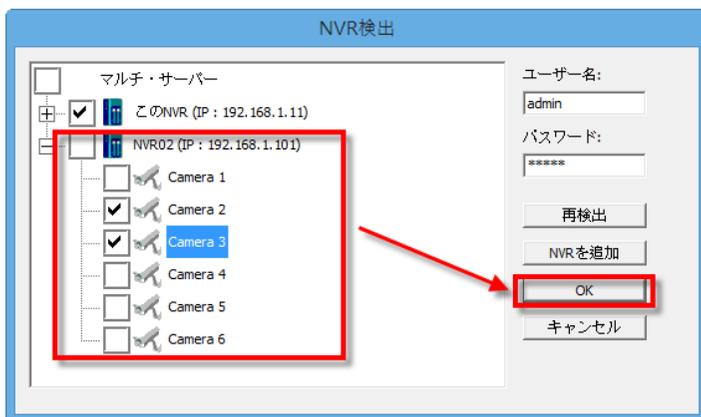
自動ではなく手動で追加する時は、「NVR を追加」をクリックしてください。下のウィンドウが表示されたら、NVR のアドレス、ポート番号、ユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックします。同一 LAN

上以外の NVR もこの方法で追加することができます。



※LAN 上の NVR を検索します。 .

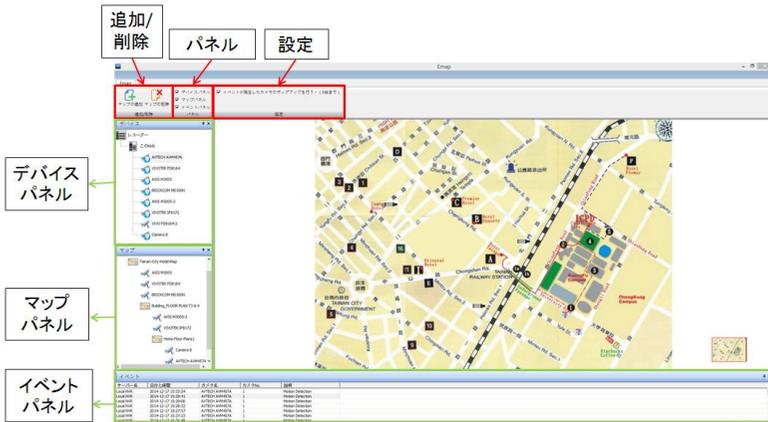
追加を行いたい NVR とカメラを選択して“OK”ボタンを押してください。



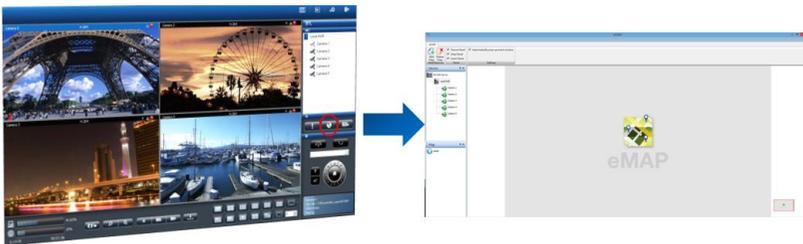
3.1.5 ダイナミック E-map 機能

PC を使用してのモニタリングにてマップ機能が使用できます。ユーザーはマップを貼り付けカメラを配置することにより視覚的にカメラの監視が可

能です。また、イベント発生時には該当カメラのポップアップ表示をすることもできます。

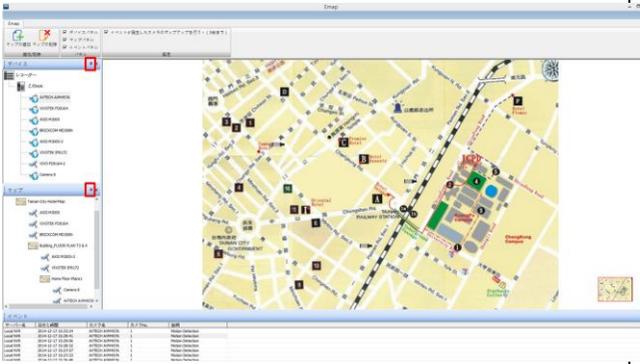
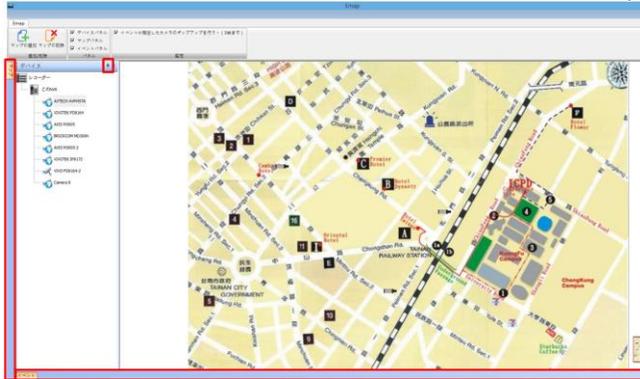


ライブ表示上の E-Map ボタンをクリックし、E-Map の画面に移行してください。



1. アイコンの状態

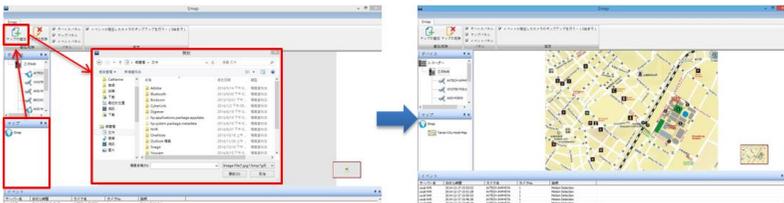
アイコン	内容
	パネルの固定: パネルを固定します。.

	
	<p>パネルを隠す: ウィンドウの端にパネルを隠し、非表示にする。(※再度パネルを表示するには、パネル名をクリックしてください。)</p> 
	<p>削除: パネルを閉じます。</p>
	<p>Mapの追加: E-Mapを追加します。</p>
	<p>Mapの削除: E-Mapを削除します。</p>

	追加可能なカメラ: デバイスパネル上にあるカメラをドラッグすることにより追加可能です。
	Map 上に既にあるカメラ: すでに Map に登録されているため、そのカメラの追加はできません。

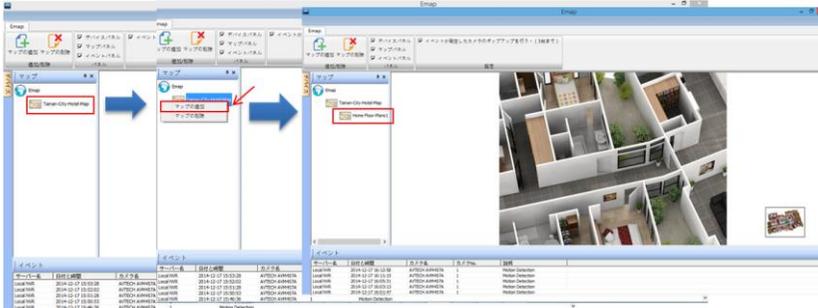
2. Map の階層の追加と削除

(1) **Map の追加:** マップを追加するには“マップパネル”上のマップをクリックし“マップを追加”をクリックしてください。



⚠ 注意: PNG, BMP 及び JPEG の画像のみ使用できます。

(2) Map の右クリック: マップを右クリックすることでサブレイヤー（サブ階層）の作成が可能です。

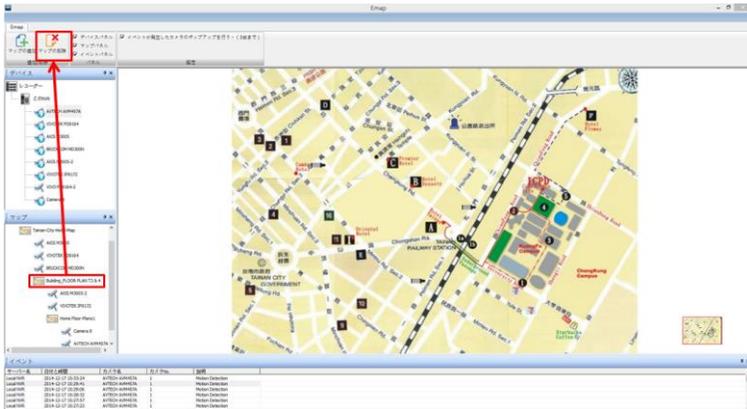


E-Map の拡大/縮小

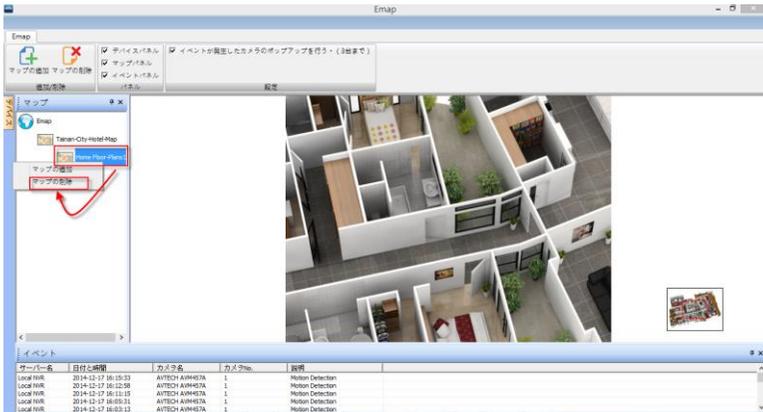
マウスのスクロールを使用し、Map の拡大/縮小ができます。

Map の削除

(1) Map の削除ボタンによる削除: マップをマップパネルより選択し「マップの削除」をクリックしてください。



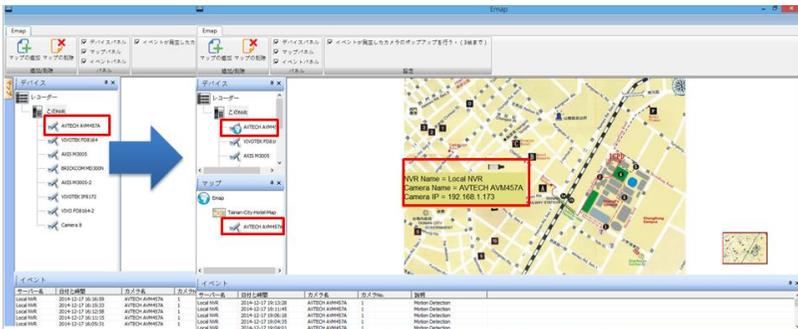
- (2) マップパネル上でのマップの削除: 直接マップを選択し右クリック→マップの削除よりマップの削除を行ってください。



カメラの配置

- (1) カメラの配置: 配置したいマップの場所にカメラをドラッグしカメラの配置を行ってください。カメラの配置が正常に行われると、デバイスパネル

上のカメラのアイコンが  (配置可能なカメラ) から  (配置済みのカメラ) と表示が変わります。



カメラ情報

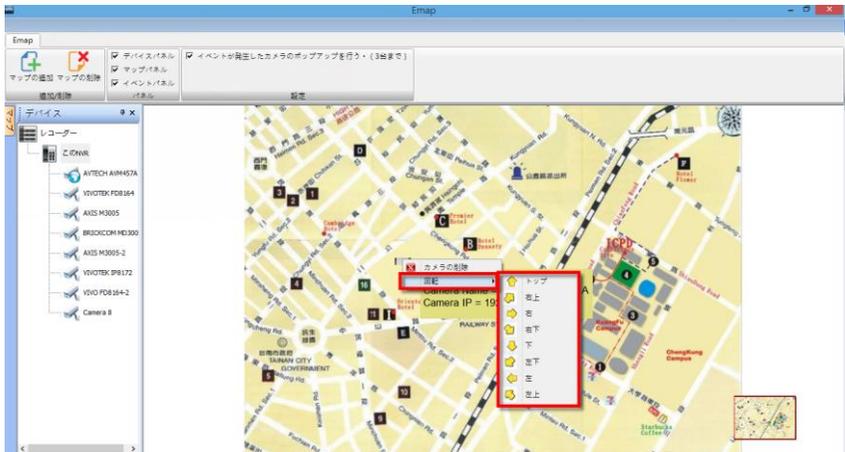
マウスの矢印をマップ上にあるカメラアイコンへ移動すると黄色のコラムに IP アドレス等のカメラの情報が表示されます。

(2) カメラの削除: カメラの削除を行うには、右クリックをしてカメラの削除を選択することでカメラの削除が可能です。



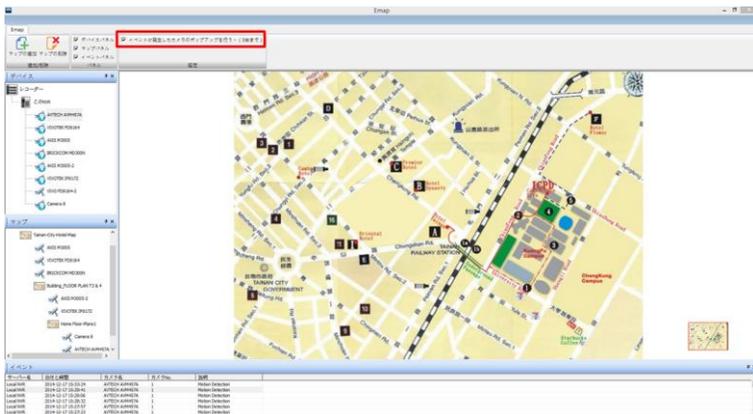
カメラアイコンの向きの変更

カメラアイコンを右クリックすることで、カメラの向きを変更できます。



E-map 上でのポップアップ機能

動体検知などのイベント発生時に別ウィンドウにてカメラのライブ映像の表示が可能です。この機能を有効にするには、“イベントが発生したカメラのポップアップを行う”のチェックをONにしてください。



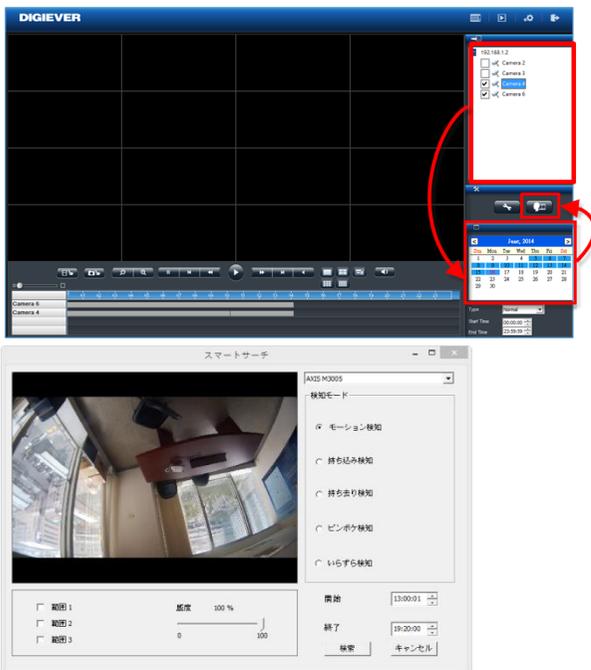
⚠ 注意: 同時にポップアップできるカメラの最大数は4台まで。

3.1.6 スマートサーチ機能

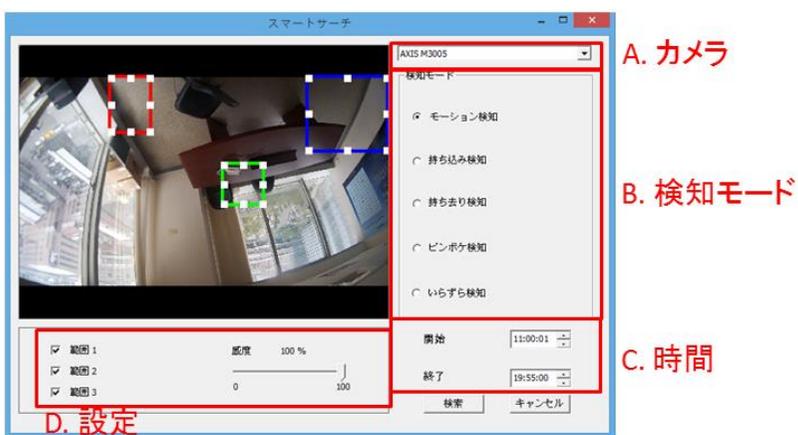
スマートサーチ機能(モーション検知、**持ち込み検知**、**持ち去り検知**、**いたずら検知**、**ピンボケ検知**)を使用することにより、ポイントを定めいち早く正確に検索をすることが可能です。



リストからカメラを選択し、スマートサーチを行いたい日付を選択→“スマートサーチ”ボタンを押して画面を移行してください。



カメラを選択し、カメラの検知モード、開始時間、終了時間を入れ“検索ボタン”を押してください。



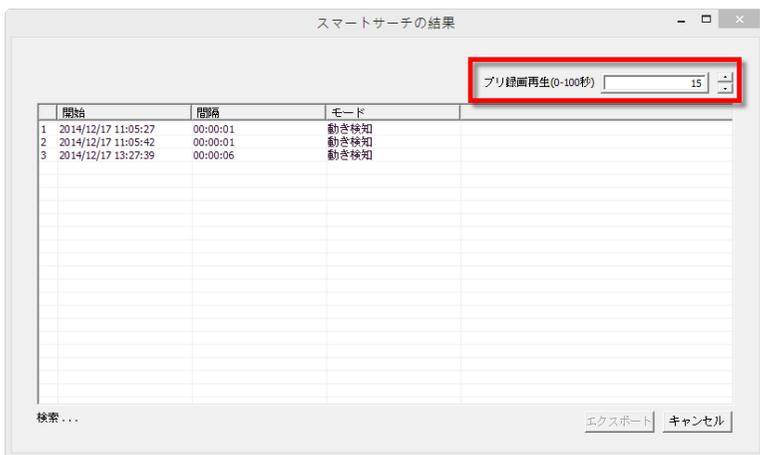
設定の概要:

(1) 物体の大きさ: 検知する物体の大きさ

⚠ 注意: モーション感知, 持ち込み検知, 持ち去り検知には物体の大きさの調整が必要です。

(2) 感度: 検知する感度。

(3) インターバル: その物体が指定した領域に存在する(しない)期間



スマートサーチの結果が表示されます。(※録画の再生を行う前にプリ録画再生の秒数の変更をしたい場合、右上の“プリ録画再生”にて0秒～100秒の間で期間の変更を行ってください。)

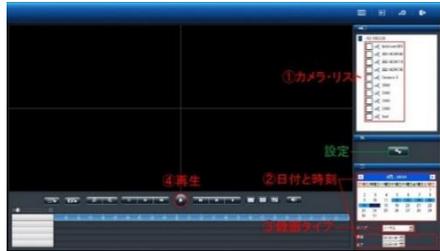
その後、再生を行いたいリストをダブルクリックすることにより再生が可能です。

3.2 録画再生

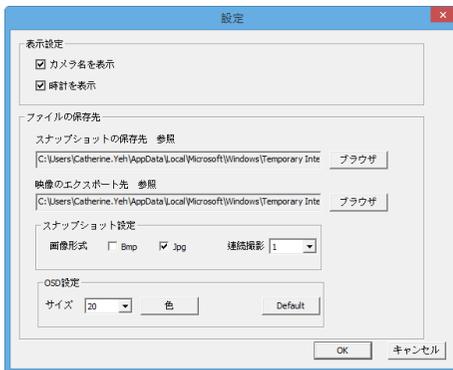
録画再生ページから、NVR に記録した録画映像を再生できます。4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

3.2.1 録画再生の準備

録画再生の前に「設定」ボタンをクリックして設定を行います。



- 設定：スナップショット撮影した静止画像の保存先や OSD を設定できます。

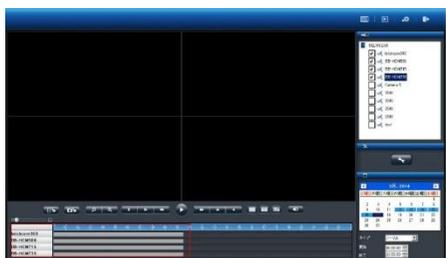


録画再生は次の手順で実行します。

1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

1.カメラの選択

4台程度のカメラを選択して再生を行ってください。



再生したいカメラにチェックを入れると、タイム・テーブルにそのカメラの名称と録画している時間帯を示すグラフが表示されます。

2.日付と時刻の選択

再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。



3.録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオ・クリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、夏時間（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。



4.「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



●スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。



●スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



●ネイル機能

グラフにマウス・オーバーすることでその時間の静止画像が表示されます。

⚠ 注意：この機能は一時停止中のみ有効です。



3.4.2 録画再生の主な機能



1. 表示モード

各カメラの録画映像の時間は、各グリッドの上段に表示されています。全画面にする時は、右側のボタンをクリックしてください。1画面の時は左側、4分割で再生する時は中央のボタンをクリックしてください。

2. デジタル・ズームイン / アウト

選択したカメラの再生映像を拡大する時に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使ってください。

3. 録画再生時のスピード制御



- ①一時停止：録画再生を一時的に停止します。
- ②前のイメージ：1コマ前に戻ります。
- ③スロー再生：再生速度を落とします。
- ④再生：録画映像を再生します。
- ⑤高速再生：再生速度を上げます。
- ⑥次のイメージ：1コマ先に進めます。
- ⑦逆再生：録画映像を逆再生します。

再生速度はスクロール・バーの右上に表示されています。

4. 消音



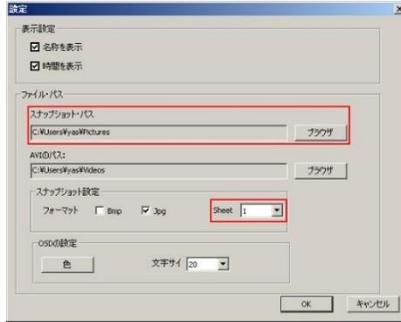
」ボタンをクリックすると、映像だけを録画再生します。ボタンを押すことでオーディオ再生のオン/オフを切り換えられます。

5. スナップショット

「スナップショット」ボタンをクリックすると、選択しているカメラの静止画像を保存します。保存先は「設定」で確認・変更できます。

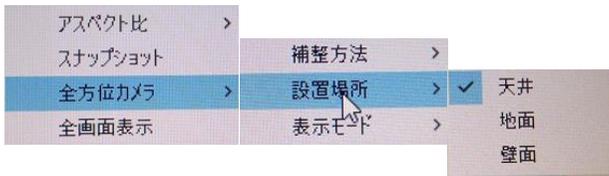
●録画再生時の連続スナップショット

初期値は「1」です。ドロップ・ダウン・メニューで変更でき、最大5枚の連続静止画像をワン・クリックで撮影できます。



6. 全方位カメラの映像補整

全方位カメラのドライブ・タイプとカメラの設置位置、表示モードを選択します。



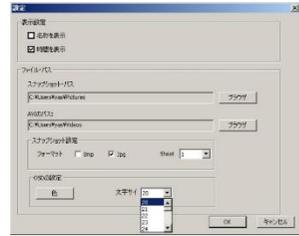
7. OSDの色とサイズの変更

録画映像で表示される OSD (On Screen Display) の設定を変更できます。

- 1) 「設定」をクリックします。



2) 「色」をクリックするとパレットが表示されます。表示したい文字の色を選択してください。



3) 文字のサイズをドロップダウン・メニューから選択してください。

デフォルトボタン

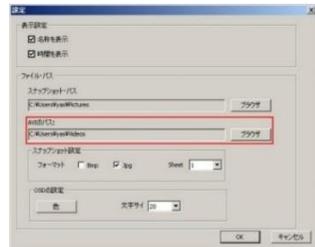
“Default”ボタンをクリックすることで、OSD及びフォントのサイズ・色をデフォルトに戻します。

3.2.3 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像をNVRから取り出せます。エクスポートの前に保存先を確認してください。

1) 映像のエクスポート先の決定

「設定」ボタンをクリックして設定ウィンドウを表示してください。「映像のエクスポート先」に示されるフォルダに保存されます。



2) 録画ファイルの条件指定

カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選んでからエクスポート・ボタンをクリックしてください。

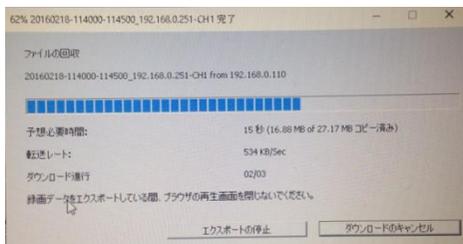
3) エクスポートのオプション

DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

- DIGIPlayerはNVRに保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- DIGICheckは、録画映像ファイルがDIGISTORで作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

4) エクスポートのキャンセル

データ転送中に「キャンセル」をクリックすることで中止できます。



※

3.3 映像ファイルの再生

Windows ネットワーク、または FTP サービスを使って映像ファイルにアクセスできます。

注意：使用するサービスは、「ネットワーク共有サービス」ページで有効にしてください。

ファイル共有ページの「リンク」ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。

サービスリスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク
FTPサービス	ON	無効	リンク

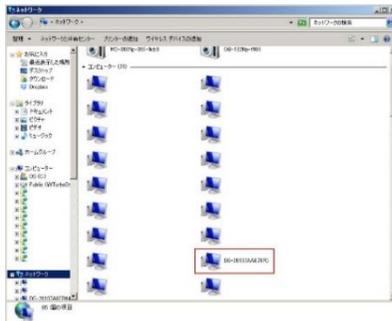
3.3.1 Windows ネットワーク

「スタート」ボタンで NVR のアドレスを入力しても、Windows ネットワークでダイアログを開くことができます。

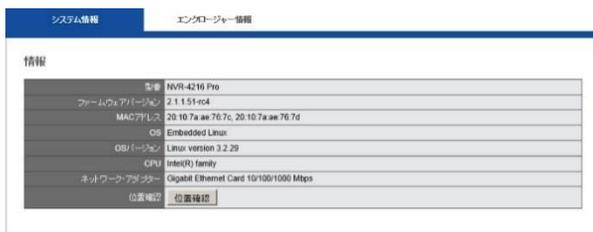
●NVR の選択

「ネットワーク」フォルダーの「コンピューター」の中から NVR を選択します。

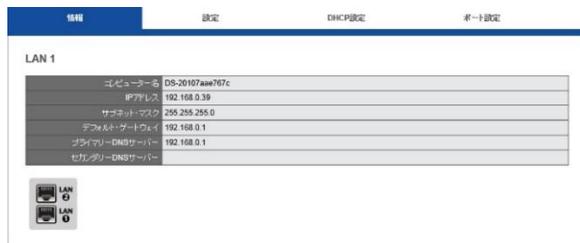
注意：NVR の名称は「サーバー設定」のサーバー名または「機器情報」の MAC アドレスで調べられます。



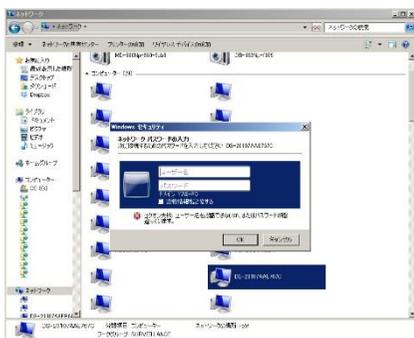
「システム > 機器情報」から NVR の MAC アドレスを確認できます。コンピューター名は MAC アドレスに基づいたものになります。

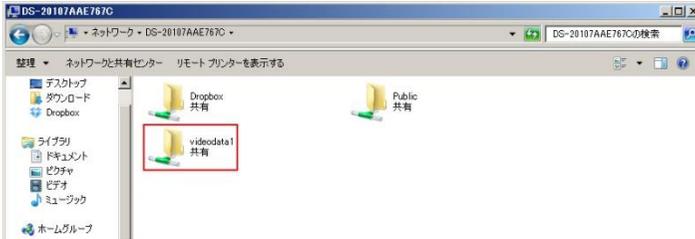


または「ネットワーク設定 > 情報」の「コンピューター名」を確認してください。



NVR のアイコンをダブルクリックしてください。ユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。初期値はどちらも「admin」です。





「videodata1」のフォルダーの中に録画映像が保存されています。



フォルダー内には「RecordFolder」という名のフォルダーが時系列で並んでいます。

録画映像は5分ごとのファイルで保存されています。再生したいファイルを選んでください。

●IPアドレスの入力

スタート・メニューに「¥¥ (NVR の IP アドレス)」を入力しても、同様に録画ファイルにアクセスできます。

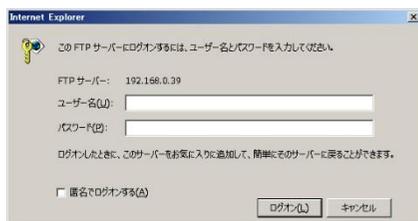


3.3.2 FTP サービス

Internet Explorer を使って FTP サービスを利用できます。アドレス・バーに

ftp:// (NVR の IP アドレス)

を入力して「Enter」を押してください。ユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。初期値はどちらも「admin」です。



ログオンするとフォルダ一覧が表示されます。「videodata1」をクリックします。



フォルダ内には「RecordFolder」という名のフォルダが時系列で並んでいます。その中に録画ファイルが5分ごとに保存されています。



4.0 ローカル・ディスプレイでの操作

HDMI または VGA でモニターを NVR に接続して、クイック設定やライブ表示を行うことができます。

注意：この機能をサポートしているのは DS-1100 Pro(+)、DS-2100 Pro(+)、DS-4200 Pro(+)
シリーズと、DS-4200-RM Pro(+)、DS-8200-RM Pro(+)
シリーズだけです。

ローカル・ディスプレイを接続する前に、以下の準備を行ってください。

- 1.1 台以上の HDD を NVR に取り付けてください。
2. NVR とカメラをネットワークに接続してください。
3. MVR 背面のポート (HDMI / VGA / DVI-I) とモニターを正しく接続してください。
4. NVR の USB ポートにマウスを接続してください。
5. NVR に電源コードをつなぎ、電源をオンにしてください。
6. NVR にログインする際、ユーザー名とパスワードを入力し (初期値はどちらも「admin」)、表示言語を選択してください。

4.1 NVR へのログイン

ユーザー名とパスワードを正しく入力してください。



解像度：

解像度 1920 x 1080 または 1024 x 768 を選択できます (モニターが対応している場合)。

4.1.1 匿名ログイン

匿名ログインを行えば、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありません。



匿名ログインした時はライブ表示と録画再生は行えますが設定ページへは移動できません。匿名ログインが行われたことはログに記録されます。

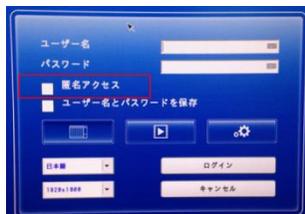
匿名ログインを有効にする

A. PCでNVRにログインして、「設定 > 管理 > ユーザー管理 > 詳細設定」へ移動します。

B. 「匿名ログインを有効にする」にチェックを入れます。

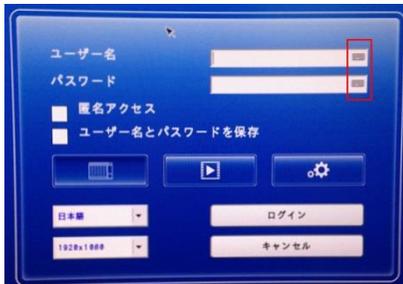


C. ローカル・ディスプレイのログイン画面で匿名ログインが可能になります。



4.1.2 バーチャル・キーボード

文字入力の必要がある時、USB キーボードを NVR の USB に接続するか、バーチャル・キーボードを使ってください。バーチャル・キーボードは、各コラムの右側にアイコンが用意されています。



バーチャル・キーボードには小文字、大文字、記号の3モードがあります。



4.3 ライブ表示

4.3.1 ライブ表示モードの選択



右上四つのボタンで表示モードを切り替えます。

モード	内容
	ライブ表示： ライブ映像を表示します。
	録画再生： 録画した映像を再生するページを表示します。
	設定： カメラ、録画、イベント、管理、ネットワークなど設定するページを表示します。
	ログアウト： NVR からログアウトする時にクリックします。

4.3.2 ライブ表示の主な機能



1. カメラの状態

アイコン	内容
	カメラ名 : 映像ウィンドウ左上にカメラの名称が表示されます。 「設定 > カメラ > カメラ設定」で名称を変更できます。
	映像圧縮形式 : M-JPEG / MPEG-4 / H.264 のいずれかです。
	オーディオ : カメラがオーディオ機能をサポートしていると、アイコンが青色で表示されます。サポートしていない時は灰色で表示されます。
	イベント : イベントが発生するとアイコンで通知します。
	録画状態 : カメラが録画中かそうでないかを表示します。



青色の枠：

ウィンドウを選択すると枠が青色で強調表示されます。

2. NVR の情報

1) ファームウェア・バージョン

ライブ表示ページに NVR のファームウェア・バージョンが表示されています。



2) ディスク・CPU 使用量

設定ページへ移動しなくても、ディスクと CPU の使用量を確認できます。



使用量が 70%以下なら青色で、70%以上になると赤色で表示されます。



解像度や FPS、画質の変更や、RAID を作成中は CPU の使用量が大きくなります。常時 70%以下になるよう、設定に注意してください。

3. 基本機能

アイコン	内容
	スナップショット： 選択したカメラの静止画像を撮影します。「Public > liveview_snapshot」に保存されます。Windows ネットワークまたは FTP でアクセスできます。
	デジタル・ズームイン / アウト： 選択したカメラのデジタル・ズームを操作します。
	表示停止： 選択したカメラの表示を停止します。

	全てを表示停止： 全てのカメラの表示を停止します。
	全てを表示： 全てのカメラのライブ映像を表示します。
	消音： カメラのオーディオ・ボリュームをゼロにします。
	日付と時間： 現在の日付と時間を表示します。

4.表示モード

表示レイアウトを変更できます。アイコンをクリックしてください。
選択中のレイアウトはアイコンが青色で表示されます。

アイコン	内容
	全画面表示
	シングル表示
	4 分割表示
	9 分割表示
	12 分割表示
	16 分割表示
	20 分割表示

	3, 5, 25, 30, 36, 42, 49, 5, 64 分割表示
	5+1 分割表示
	シーケンシャル・モード。特定ページを表示したい時はドロップダウン・メニューから選択してください。

5.PTZ 制御

PTZ 機能を持つカメラは、ライブ表示ページでその操作を行えます。以下は制御アイコンですが、カメラの機種によって対応していない機能もあります。

アイコン	内 容
	<p>PTZ 操作： 選択したカメラのパン、チルト、ズーム操作を行えます。クリックした矢印の方向にカメラが向きを変えます。中央の「家（ホーム）」ボタンをクリックすると、ホーム・ポジションに戻ります。</p>
	<p>プリセット・ポジション： カメラにプリセット・ポジションを登録していたら、その位置情報に基づいてカメラの向きを換えます。</p>
	<p>光学ズームイン / アウト： 選択したカメラのズームイン / アウトを制御します。</p>
	<p>フォーカスの調整 カメラが PTZ 機能をサポートしている場合、マニュアルでフォーカスの調整が可能です。</p>
	<p>スケジュール PTZ（巡回モード）： 巡回するプリセット・ポジションを「セット」で選択します。巡回回数及びプリセット・ポジション間の移動間隔を設定してください。</p>



スケジュール PTZ (巡回モード) :

「Go」をクリックすると巡回が始まります。

6. イベント・ログ

モーション検知機能を使用している時、検知するとアイコンが点滅します。アイコンをクリックするとログ・ウィンドウがポップアップします。



4.3.3 オプション (映像表示の右クリック)

警告設定やウィンドウ設定、シーケンシャル・モード設定など、ライブ表示全般の設定を行います。

1) 一般設定

- 全ての映像サイズを同時に変更

映像ウィンドウ上で右クリックするだけで、全ての映像を「オリジナルのサイズ」または「ウィンドウのサイズ」に切り替えられます。



- イベント検知時に映像ウィンドウを強調

モーション検知など、カメラがイベントを検知するとウィンドウが強調表示されます。



当該映像ウィンドウをクリックすると強調表示は終了します。



イベント発生時ウィンドウを強調表示

“イベント発生時ウィンドウを強調表示” を選択するとイベントが発生するとカメラの枠がハイライトします。



枠のハイライトをクリックすると、ハイライトがなくなります。



●イベント発生時にポップアップ

また、ポップアップの設定を有効にすると、イベントが発生したカメラのポップアップを行います。

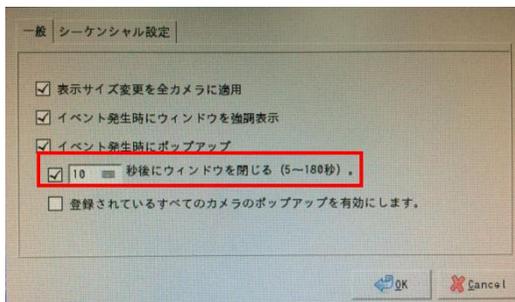


普通



イベントが発生する

ポップアップのウィンドウをクリックすることで、手動でポップアップを閉じます。



自動でポップアップを閉じる場合は設定内で設定を行ってください(デフォルトは 10 秒です)。

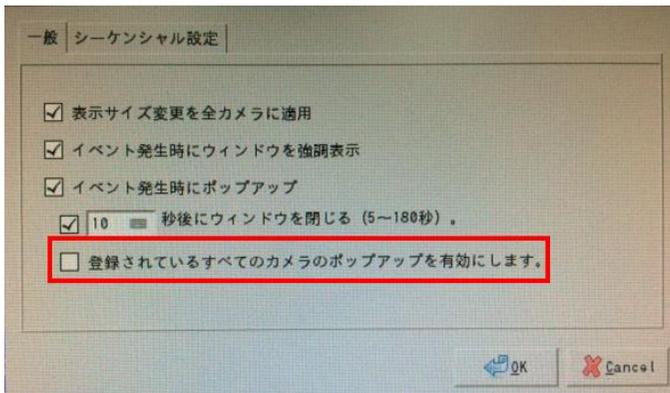
“登録されているすべてのカメラのポップアップを有効にします”を選択した場合、すべてのカメラでポップアップ動作を行います (チェックを行わない場合は表示されているカメラのみポップアップを行います)



普通



登録されているすべてのカメラの
ポップアップ



⚠ 注意: 同時にイベントが発生した場合、最新のカメラのイベントがポップアップとして表示されます。

2) シークンシャル・モード設定

ページの切替間隔 (秒単位) を設定します。

8. ストリーミング・タイプの切り換え

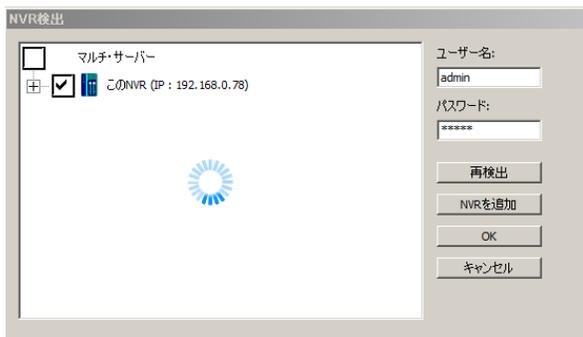
DIGISTOR はマルチ・ストリームに対応するカメラから、二つの映像ストリームを取得できます。通常、ストリーム 1 は高画質（録画用）、ストリーム 2 は低画質（小サイズのウィンドウ表示用）に使用します。表示している映像ストリームを切り換える時は、映像ウィンドウ上で右クリックしてストリームをリストから選択してください。

「最適化」が有効になっている時は、選択中のレイアウトに合わせて最適のストリームが表示されます。

「最適化」が無効の時は、手動でストリームを選択できます。一度選択したストリームは、レイアウトごとシステムに記憶されます。

4.3.4 マルチサーバー

NVR の追加ボタンを押し、新しく NVR を追加してください。



4.4 録画再生

録画再生ページから、NVR に記録した録画映像を再生できます。4 台までのカメラの記録映像を同時に再生できます。

4.4.1 録画再生の手順

録画再生は次の手順で行います。



1. 再生したいカメラをリストから選択します。
2. 再生したい日付と時刻を選択します。
3. 再生したい録画映像のタイプを選択します。
4. 「再生」ボタンをクリックします。

録画映像のタイプの違い：

通常録画：連続録画やスケジュール録画など、いわゆる「ベタ録り」された映像です。

イベント録画：モーション検知など、イベントによって実行された録画映像です。

ビデオ・クリップ：イベント録画によってメール送信されたビデオ・クリップです。

修復されたファイル：録画ファイルは5分単位で作成されますが、途中で録画設定を変更したり電源をオフにしたりした場合など、5分未満のファイルが作成されます。5分に満たない不完全なデータが「修復されたファイル」になります。

重複する時間帯：時刻同期の結果、同じ時刻データを有することになった録画ファイルを指します。

1. カメラの選択



4 台以下のカメラを選択して再生できます。

2. 日付と時刻の選択



再生したい日付と時刻を指定してください。選択したカメラが録画を行っている日付がカレンダー上で青色（通常録画）表示されます。再生する日付をカレンダーで指定し、開始時刻と終了時刻を選択します。

3. 録画タイプの選択

録画のタイプには、通常録画（灰色）、イベント録画（赤色）、ビデオクリップ（黒色）、修復されたファイル（青色）、重複している時間帯（緑色）があります。選択した録画のタイプによって日付の色が変化します。

4. 「再生」をクリック

「再生」ボタンをクリックすると再生が始まります。

フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。

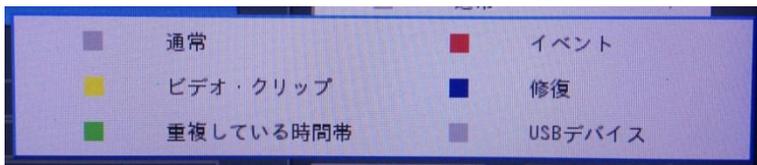
フレーム単位の再生（コマ送り再生）

1. 上記四つの手順に従います。
2. 「一時停止」ボタンをクリックします。
3. 「1 コマ戻す（前のイメージ）」または「1 コマ進める（次のイメージ）」ボタンをクリックします。



録画タイプの選択:

イベント録画等で録画されたデータを再生するには通常録画 (グレー), イベント (赤), ビデオクリップ (黄), 修復ファイル(青) 重複している時間帯(緑)、USB デバイス(グレー)を選択した上で検索を行います。



検索上の録画データの色帯に関しても上記の色により種別されます。

録画タイプの説明:

- 1) **通常録画 (グレー):**
通常録画 : 常時録画やスケジュール等で設定を行い録画を行ったファイル。(※イベント、重複した時間帯等以外の録画ファイル)
- 2) **イベント (赤):**
イベントファイル 動体検知などのイベントが発生した際の録画ファイル。(※詳細は **5.2.3 イベントと動作の管理を参照**)
- 3) **ビデオクリップ (黄):**
ビデオクリップ 設定 > イベントと動作の管理 > 詳細設定内で設定されたビデオクリップファイル

The screenshot shows the 'Event & Action Management' window with the 'Advanced Settings' tab selected. The 'Video Clip' section is highlighted with a red box. The settings are as follows:

Section	Setting	Value	Unit	Action
Video Clip	Seconds before event being triggered	3	sec	Start Recording Video
	Seconds after Event	3	sec	Stop Video
Recording Settings	Seconds before event being triggered	300	sec	Start Recording Video
	Seconds after Event	300	sec	Stop Video
Event Triggered with Audio	<input type="checkbox"/>			

Tip: When 'Event Triggered with Audio' is enabled, the audio of all cameras will be disabled to do recording until the event is triggered. And when the event stops, the audio will be disabled again accordingly. All above will not influence the audio function in liveview.

Buttons: Apply, Reset

- 4) **修復(ブルー):**
修復ファイル 不意に NVR の電源が落ちた場合、バッファされている出来る限りのデータを保全し、修復を行ったファイルです。(※電源が落ちている間の録画データは修復できません。)

5) **重複している時間帯 (緑):**

重複している時間帯 録画時間の変更を行った際に重複される時間の録画データを表示します。

6) **USB デバイス(グレー):**

バックアップを行った録画ファイルをチェック用に確認できます。
クリックするとフォルダが表示され、フォルダ内(bk.db)をクリックすることでバックアップファイルを再生できます。

4.4.2 録画再生の主な機能



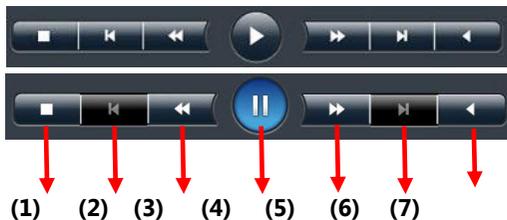
1. 表示モード

各カメラの録画映像の時間は、各グリッドの上段に表示されています。全画面にする時は、右側のボタンをクリックしてください。1画面の時は左側、4分割で再生する時は中央のボタンをクリックしてください。

2. デジタル・ズームイン/アウト

選択したカメラの再生映像を拡大する時に使用します。元のサイズに戻す時はデジタル・ズームアウトを使ってください。

3.録画再生時のスピード制御



- ①停止：録画再生を停止します。
 - ②前のイメージ：1コマ前に戻ります。
 - ③スロー再生：再生速度を落とします。
 - ④再生と一時停止：録画映像を再生します。もう一度押すと録画再生を一時停止します。
 - ⑤高速再生：再生速度を上げます。
 - ⑥次のイメージ：1コマ先に進めます。
 - ⑦逆再生：録画映像を逆再生します。
- 再生速度はスクロール・バーの左に表示されています。



4.スケール・バー

スケール・バーを操作することでタイム・テーブルの表示を拡大 / 縮小できます。



5.スクロール・バー

スクロール・バーを操作することで、任意の時間の録画映像を再生できます。

⚠ 注意：スクロール・バーは再生中のみ有効になります。



4.4.3 オーディオ再生



選択中のカメラの音声を再生できます。

アイコン	内容
	消音： 再生中の録画映像のミュートします。
	音量ダウン： 再生中の記録映像の音声ボリュームを下げます。
	音量アップ： 再生中の記録映像の音声ボリュームを上げます。

4.4.4 ファイルのエクスポート

エクスポート機能を用いることで、録画映像をUSB機器に保存したり、USB接続されたDVDドライブのメディアに直接書き出ししたりすることができます。



カメラ、録画映像のタイプ、日付と時間を選んでからエクスポート・ボタンをクリックしてください。

DIGIPlayer と DIGICheck を録画映像とともにダウンロードするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。

- DIGIPlayerはNVRに保存された録画映像を再生するプレイヤーです。
- DIGICheckは、録画映像ファイルがDIGISTORで作成されたものかどうかを確認するためのツールです。

実際にファイルをエクスポートする前に、記録映像の開始 / 終了時刻とファイル容量を確認できます。

エクスポートに成功したら、その旨を知らせるウィンドウが表示されます。

映像のエキスポート

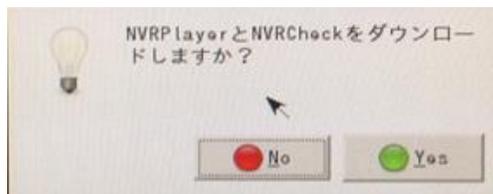
映像の取り出し機能は USB デバイス（フラッシュメモリ）、USB-DVD(※弊社指定品)等を使用しバックアップが可能です。



録画検索と同様に日付、時間を選択した後、バックアップボタンを押してバックアップを行ってください（※USB デバイスのフォーマットは FAT を使用してください）。

バックアップボタンを押すと NVRPlayer と NVRCheck も同時にコピーを行うかダイアログが表れますので、選択してください。

- ⚠ NVRPlayer は、録画再生を行うための再生専用プログラムです。
- ⚠ NVRCheck は、録画ファイルの改ざんをチェックするチェックツールです。



録画データの容量及び、時間範囲をダイアログで表示するので確認後 YES を選
択してくだ
さい。



取り出しが完了すると上記のようなダイアログが表示されます。(※Close して
ダイアログを閉じてください。)

4.4.5 スナップショット

ローカル・ディスプレイでの再生中にもスナップショットを撮影できま
す。USB の保存メディアを NVR の USB ポートに接続してください。
スナップショット・ボタンをクリックすると静止画像が保存されます。



4.5 その他

3.5.1 ローカル・ディスプレイのスクリーンショット

キーボードを接続し「PrtSc SysRq」を押すとローカル・ディスプレイの全面面が NVR の共有フォルダ「Public」内に保存されます。PC を使って Windows ネットワーク、または FTP でファイルのアクセスできます。

注意：Windows ネットワーク、FTP サービスを使用する時は、設定ページの「ファイル共有」設定から、必要なサービスを有効にしてください。詳細は 5.3.3 を参照ください。

4.5.2 システムのアップグレード

ローカル・ディスプレイの操作でシステムをアップデートできます。詳細は 5.7.2 を参照してください。

注意：この操作はローカル・ディスプレイに対応した機種のみ可能です。

4.5.3 USB バックアップ

NVR 本体正面の USB ポートに USB ストレージまたは DVD ドライブを接続し、ボタンを押すことで自動的にバックアップを作成できます。

注意：ボタンを押すと直ちにバックアップが開始されます。



管理 > USB バックアップで機能の有効 / 無効を切り換えます。

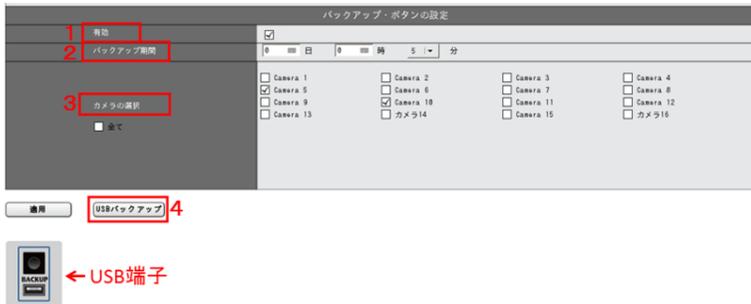
2) USB ストレージまたは DVD ドライブをバックアップ用 USB

ポートに接続します。機器が有効な時は「状態」が「準備完了」になります。

- 3) 保存期間とチャンネルを選択します（保存期間は今から「#日 #時間」前まで）。
- 4) 「USB バックアップ」ボタンをクリックします。

バーチャルバックアップボタンを押しての録画バックアップ

設定内にある“USB バックアップ”ボタンを押して録画データのバックアップが可能です。詳細の情報は、**5.6.4 USB バックアップを参照してください。**



⚠ 注意: “USB Backup” ボタンを押すと、NVR はそのデバイスに録画データのバックアップを行います。

- 1) USB バックアップ設定 > 管理 > USB バックアップ
- 2) USB デバイスを USB 端子に挿入してください。
- 3) (USB の準備ができている場合は、“準備完了”の表示が出てバックアップを行うことができます)

機器情報	
製品情報	Generic Model: Flash Disk Rev: 0.01
容量	8932 Mbytes (数): 1629 Mbytes
状態	準備完了
操作	フォーマット

5.0 設定

設定ページでは、カメラ、録画とイベント、ディスク管理、ネットワーク管理とシステムの設定を行えます。

注意：設定ページを表示してから待機時間が 10 分を経過すると、セキュリティのために自動的にログアウトします。

5.1 カメラ設定

5.1.1 カメラ設定

手動または UPnP 検索でカメラを NVR に登録できます。

1. カメラ設定

手動で IP アドレスを入力し、メーカー名を選択します。その後、「適用」をクリックしてカメラを登録します。

クイック設定 - カメラ設定

カメラNo.	2	ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> NVRによる最速化 <input type="radio"/> ユーザー指定
カメラ名	Camera 2	ポート	80
IPアドレス	192.168.0. x	パスワード	*****
管理番号	admin	型番	
メーカー	Auto	RTSP port	
Generic URL			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う		

カメラ名（任意）、ユーザー名、パスワードはを入力してください。
（※カメラのユーザー名、パスワードは管理者のものを使用してください。カメラによっては、自動的にユーザー名、パスワードにデフォルト値が入力されるものもあります）

カメラ設定

カメラNo.	2	ストリーミングの状態	<input checked="" type="radio"/> NVRによる最適化 <input type="radio"/> ユーザー指定
カメラ名	Camera 2	ポート	80
IPアドレス	192.168.0.1	パスワード	*****
管理者名	admin	型番	
メーカー	Auto	RTSP port	
Generic URL			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画を行う		

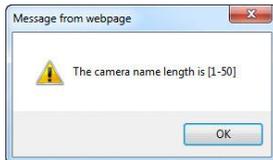
UPnP検索 適用

変更後のユーザー名とパスワードの記録：

ユーザー名とパスワードが自動入力されたメーカーのユーザー名とパスワードを変更して「適用」をクリックすると、NVR は、そのメーカーの初期ユーザー名とパスワードを変更後の情報に書き換えます。以後、同じメーカーのカメラを追加した時は、自動で変更後のユーザー名とパスワードが入力されます。

注意：ユーザー名とパスワードの初期値はメーカーによって異なります。

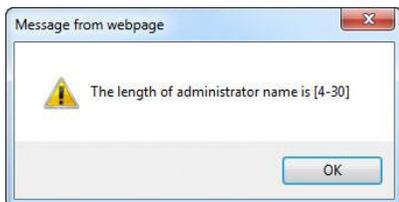
入力した情報に間違いがある場合は、警告ウィンドウが表示されます。



IP アドレスが不適切な場合は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



ユーザー名に誤りがある場合は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



パスワードに誤りがある場合は、以下の警告ウィンドウが表示されます。



登録が完了すると、リストにカメラ名、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、機種名が表示されます。

No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1	Brickcom300	192.168.0.80	80	Brickcom Corporation	Brickcom-300N-300	<input type="checkbox"/>
2	88-HCM800	192.168.0.201	80	Panasonic	88-HCM800	<input checked="" type="checkbox"/>
3						
4	88-HCM735	192.168.0.253	80	Panasonic	88-HCM735	<input checked="" type="checkbox"/>
5	Camera 5	192.168.0.70	80	Takux	kvC-130P	<input checked="" type="checkbox"/>
6	Camera 5	192.168.0.81	80	Takux	NBC-130P	<input checked="" type="checkbox"/>
7	3500	192.168.0.143	80	SANYO	VCC-ID3500	<input checked="" type="checkbox"/>
8	3300	192.168.0.105	80	SANYO	VCC-ID3300	<input checked="" type="checkbox"/>
9	2500	192.168.0.144	80	SANYO	VCC-ID2500	<input checked="" type="checkbox"/>
10	takux3	192.168.0.82	80	Takux	NDC-130	<input checked="" type="checkbox"/>
11	2300	192.168.0.105	80	SANYO	VCC-ID2300	<input checked="" type="checkbox"/>
12	kwnt	192.168.0.135	80	iGenTek	kwnt340H	<input checked="" type="checkbox"/>
13	takux4	192.168.0.79	80	Takux	kvC-130P	<input checked="" type="checkbox"/>
14						
15						
16						

録が完了したら、「次へ」をクリックしてください。

削除

ユーザーは**削除**ボタンをクリックすることで NVR からカメラの登録

の削除を行えます。“削除”ボタンをクリックしカメラの登録の削除を行ってください。

リスト	No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
	1	Camera 1	192.168.1.235	80	VIVOTEK	IP8305H	<input type="button" value="X"/>
	2	Camera 2	192.168.1.237	80	VIVOTEK	FD8136	<input type="button" value="X"/>

● Generic RTSP/ Generic MJPEG

DIGISTOR は、正式対応していないカメラであっても、RTSP/ MJPEG のストリーミングを取得するための URL がわかれば、Generic 登録できます。取得したストリーミングはライブ表示、録画に用いられます（※あくまでテスト用の機能です）。



Generic URL の欄に、URL を入力してください。RTSP を使用する時は RTSP ポートの欄も入力する必要があります。

カメラ設定		カメラ種類				
カメラID	14	ストリーミングの仕様	※特別による番番化			
カメラ名	Camera 14	ユーザー設定	<input type="radio"/>			
IPアドレス	192.168.1.100	ポート	80			
メーカー	Generic RTSP (DIGA)	型番				
ユーザー名	admin	パスワード	*****			
Generic URL	rtsp://192.168.1.100:80	RTSP Port	80			
録画実行	<input checked="" type="checkbox"/> このカメラで録画も行う					
ビデオサーバー	<input checked="" type="radio"/> 本地 <input type="radio"/> 外部					
適用	このカメラで録画も行う					
リスト	カメラID: 14, 名前: Camera 14, IP: 192.168.1.100, ポート: 80, メーカー: Generic RTSP (DIGA), 型番: rtsp://192.168.1.100:80, ユーザー名: admin, パスワード: *****					
No.	カメラ名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1	Camera 1	192.168.1.235	80	VIVOTEK	IP8305H	<input type="button" value="X"/>
2	Camera 2	192.168.1.237	80	VIVOTEK	FD8136	<input type="button" value="X"/>

「適用」をクリックすると設定が反映されます。

URL はメーカーにお問い合わせください。また、以下のサイトが参考に

なります。

- <https://www.solertec.com/rtsp/>

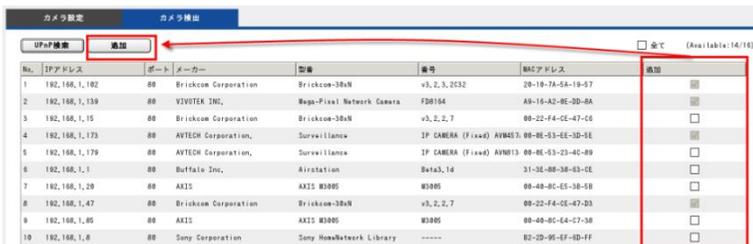
- <http://www.ispyconnect.com/sources.aspx>

2.UPnP 検索

「UPnP 検索」をクリックすると、同一サブネット上のカメラを検索します。検索できるのは UPnP 機能を持つカメラだけです。一部のカメラ（Panasonic iPro など）は起動後、一定時間のみ UPnP で検索できます。



。しばらくお待ちください。



登録可能なカメラが一覧表示されます。リストから「追加」をクリックして必要なカメラを追加してください。

登録したカメラはカメラ名、IP アドレス、ユーザー名、パスワード、ポート、メーカー名、機種名が表示されます。「適用」をクリックしてカメラを登録します。

注意：カメラ名、ユーザー名、パスワードは変更できます。ユーザー名とパスワードは初期値が表示されますが、変更すると NVR 側はそれを初期値として登録します。

登録が終わったら「次へ」をクリックします。

5.1.2 映像設定

メニューの中の「映像設定」を選択してください。



カメラがマルチ・ストリームに対応している場合、NVR は 2 本のストリームを取得できます。ストリーム 1 は録画用、及び 1~12 分割表示に使用するライブ映像用で普通は高画質設定を行います。ストリーム 2 は 16 分割以上の小さなライブ映像を表示するために使い、普通は低画質設定を行います。それぞれ最適の解像度、フレームレート、画質を設定してください。

リスト

No.	カメラ名	IPアドレス	メーカー	型番	カメラのリンク
1	brickcom350	192.168.0.80	Brickcom Corporation	Brickcom-30/N-350	ブラウザで開く
2	BB-HCM580	192.168.0.201	Panasonic	BB-HCM580	ブラウザで開く
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Panasonic	BB-HCM715	ブラウザで開く
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Panasonic	BB-HCM735	ブラウザで開く
5	Camera 5	192.168.0.78	Takex	NiC-130P	ブラウザで開く
6	Camera 6	192.168.0.81	Takex	NiC-130P	ブラウザで開く
7	3500	192.168.0.143	SANYO	VCC-HD3500	ブラウザで開く
8	3300	192.168.0.195	SANYO	VCC-HD3300	ブラウザで開く
9	2500	192.168.0.144	SANYO	VCC-HD2500	ブラウザで開く
10	take3	192.168.0.82	Takex	NSC-130	ブラウザで開く
11	2300	192.168.0.165	SANYO	VCC-HD2300	ブラウザで開く
12	test1	192.168.0.135	iCanTek	test049M	ブラウザで開く
13	take4	192.168.0.79	Takex	NiC-130P	ブラウザで開く
14					ブラウザで開く
15					ブラウザで開く
16					ブラウザで開く

映像設定を行う時は、先に下段にあるカメラ・リストから、設定したいカメラを選んでください。上段に設定情報が読み込まれます。

●映像形式

ライブ映像表示／録画で使用する映像形式を選択してください。

注意：選択可能な形式は機種によって異なります。

●フレームレート

ライブ映像表示／録画時のフレームレートを選択してください。実際に表示／録画できるフレームレートはネットワークの環境に依存します。

●解像度

ライブ映像表示／録画で使用する解像度を選択してください。

●画質

VBR（流動的なビットレート）か CBR（固定的なビットレート）を選択し、画質を選んでください。

●オーディオ

オーディオ機能を有効にする時はチェックを入れてください。

「カメラの設定ページ」から、カメラの設定ページへ移動することができます。

5.1.3 カメラの状態

「カメラの状態」をクリックすると NVR に登録しているカメラの状態を確認できます。

No.	カメラ名	IPアドレス	接続状態	録画状態	フレームレート (fps)	ビットレート (Kbps)
1	Intelliscan302	192.168.0.90	Connected	Recording	20 fps	4212.9 Kbps
2	BB-HCM500	192.168.0.201	Connected	Recording	4 fps	728.9 Kbps
3	BB-HCM715	192.168.0.73	Connected	Recording	1 fps	282.9 Kbps
4	BB-HCM735	192.168.0.253	Connected	Recording	3 fps	607.4 Kbps
5	Camera 5	192.168.0.76	Connected	Recording	5 fps	2445.8 Kbps
6	Camera 5	192.168.0.81	Connected	Recording	0 fps	281.6 Kbps
7	3500	192.168.0.143	Connected	Recording	5 fps	3481.7 Kbps
8	3300	192.168.0.105	Connected	Recording	15 fps	2975.1 Kbps
9	2500	192.168.0.144	Connected	Recording	5 fps	2967.7 Kbps
10	take3	192.168.0.82	Connected	Recording	9 fps	272.9 Kbps
11	2300	192.168.0.105	Connected	Recording	15 fps	3065.7 Kbps
12	test	192.168.0.135	Connected	Recording	25 fps	1512.7 Kbps
13	take4	192.168.0.79	Disconnected	Stopped	0 fps	0 Kbps
14			-	-	0 fps	0 Kbps
15			-	-	0 fps	0 Kbps
16			-	-	0 fps	0 Kbps
						22497 Kbps

接続状態が「Connected」は、カメラと NVR が正常に接続できている状態を表します。「Disconnected」は何らかの理由で接続できていない状態です。「Connected」でも、イベント録画でイベントが発生していない時やスケジュールされていない時間帯は録画状態が「Stopped」になります。

5.2 録画とイベント

5.2.1 録画モード

録画モードには「No Recording（録画しない）」「イベント録画」「スケジュール録画」「常時録画」の4タイプあります。カメラごとにモードを設定できます。

録画モード		録画スケジュール			
録画モード					
	<input type="radio"/> No Recording <input type="radio"/> スケジュール録画 (録画スケジュールの設定を行ってください) <input checked="" type="radio"/> 常時録画 <input checked="" type="checkbox"/> 全て				
録画モード	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 1 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 5 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 9 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 13	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 2 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 6 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 10 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 14	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 3 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 7 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 11 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 15	<input checked="" type="checkbox"/> Camera 4 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 8 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 12 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 16	
映像形式	<input checked="" type="radio"/> 独自フォーマットで録画ファイル生成(NVRのplayerとコーデックが必要です。) <input type="radio"/> 汎用のAVIフォーマットで録画ファイル生成(別途コーデックは必要ありません。) <small>注意: ※デフォルトは独自フォーマットです。</small>				
HDD上書き設定	<input type="radio"/> 使用率 [70] % (最大:90,最小:20)				
映像保存	<input checked="" type="radio"/> 保存日数 [7] 日間				
適用		リセット			

- **No Recording** : 全てのカメラで録画をしないモードです。
- **イベント録画** : イベントをトリガーにして録画を行うモードです。
- **スケジュール録画** : 決められたスケジュールに従って録画を行うモードです。「録画スケジュール」タブでスケジュールを作成します。(※アラーム録画を行う場合もこちらを選択します。)
- **常時録画** : 連続的に録画するモードです。
DIGISTOR は次の2通りの方法で付録録画ファイルを削除します。
- **映像形式** : NVR の録画形式を変更できます。
- **HDD上書き設定** : HDD の使用率が一定の値に達すると古いファイルを削除する方法です。20~90 までの値 (%) を設定してください。例えば「70」を設定すると、HDD の使用量が 70%に達すると、古いファイルから削除していき、使用率 70%を保つようにします。(※初期値 70%)

- **映像保存**：録画ファイルを保存する日数を決め、その期日が過ぎたファイルを削除していきます。HDD の使用率は問わないため、設定した日数が経過しない限りファイルが削除されないことに注意してください。その期日が訪れるまでに HDD の容量が一杯になると、それ以上の録画ができなくなります。
設定が終わったら「適用」をクリックして設定を反映させます。

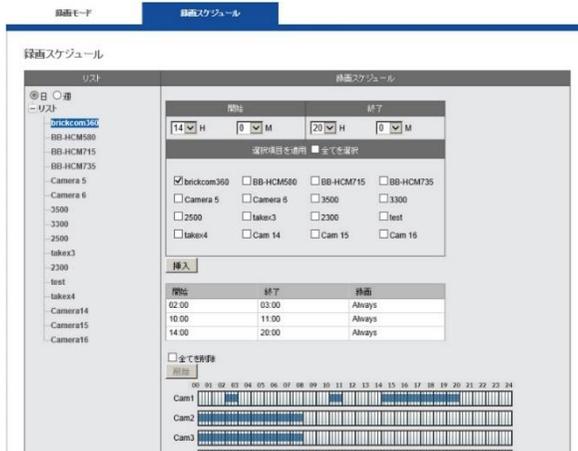
5.2.2 録画スケジュール

全てのカメラに録画スケジュールを設定することができます。



1) スケジュールの挿入

開始時間と終了時間をセットして「挿入」をクリックしてください。



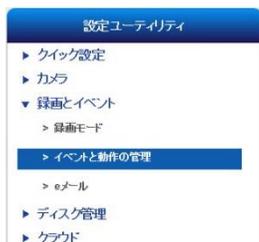
この例では最初のカメラに対して（チェック・ボックスにチェックを入れて選択）、0200-0300、1000-1100、1400-2000 のスケジュールを一つずつ「挿入」し、最後に「適用」ボタンをクリックすれば、図のように録画を行う時間帯にグラフが表示されます。

2) スケジュールの削除

スケジュールを示すグラフをクリックすると、上の表にその情報が表示されます。その後、「削除」をクリックすると該当するスケジュールが削除されます。

5.2.3 イベントと動作の管理

「イベントと動作の管理」のメニューをクリックしてください。



「イベントと動作の管理」では、アラームが発生した時、NVR がどのような動作を行うのか定義できます。センサーなどセキュリティ機器と連動させることで、より効果的な監視が行えるでしょう。

1) イベントと動作



NVR はカメラに入ったイベントのトリガーごと、異なる動作を設定することができます。イベントには以下の種類があります。

- ① 接続不良
- ② モーション検知
- ③ デジタル入力
- ④ NVR のイベント：接続不良／録画エラー／デジタル入力
- ⑤ 外部イベント (HTTP_in)

イベントと動作は、次の方法で設定します。



設定したいカメラとイベントを選択して「追加」をクリックします。

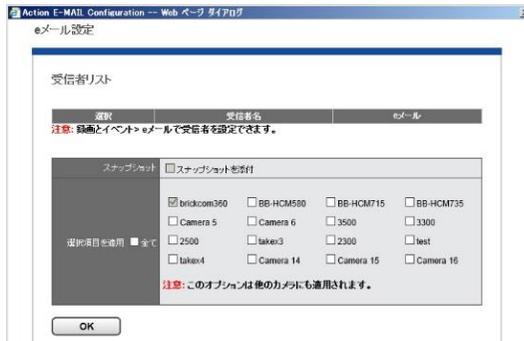
注意：イベントと動作を定義づけしない限りこの機能は有効になりません。

1. 接続不良

「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラとの接続が途切れた時、設定した動作を行います。

イベント録画
Eメールを送る
デジタル出力
ユーザー規定の動作
SMS

● Eメールを送る



「Eメールを送る」を選択すると、Eメールの受信者を設定する画面がポップアップします。まだ受信者の設定を行っていない時は、「録画とイベント > Eメール」で設定します。

「スナップショットを添付」にチェックを入れていたら、イベント発生時にスナップショットを撮影してメールに添付します。

注意：カメラが接続不良の時は正常にスナップショットを撮影できないことがあります。

最後に「適用」をクリックして設定を登録します。

Eメール送信は20秒間隔で行われます。例えば1分間イベントが続いたとしたら、メールは3通送信されることになります。

● デジタル出力

デジタル出力を選択すると、「デジタル出力」設定ウィンドウが表示されます。

ブザーは、60秒間鳴らすことができます。

注意：NVR正面のUSBバックアップ・ボタンを1秒間押せばブザーを止めることができます。バックアップ・ボタンがついているのはDS-8200-RM Pro(+)シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)シリーズ、DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-4000シリーズとDS-2000 Pro(+)シリーズです。

デジタル出力1とデジタル出力2は最長60秒間有効になります。適用するカメラを選択してください。



● ユーザー規定の動作

イベントがトリガーされた時、HTTP command をネットワーク機器に送信するよう設定できます。送信先となる機器の IP アドレスとポート番号、送信する HTTP command を「HTTP URL」に入力してください。またその機器にログインする際に必要になるユーザー名とパスワードも入力してください。



● SMS

本機能は日本国内の SMS には対応していません。

2. モーション検知

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラがモーションを検知した時、設定した動作を行います。

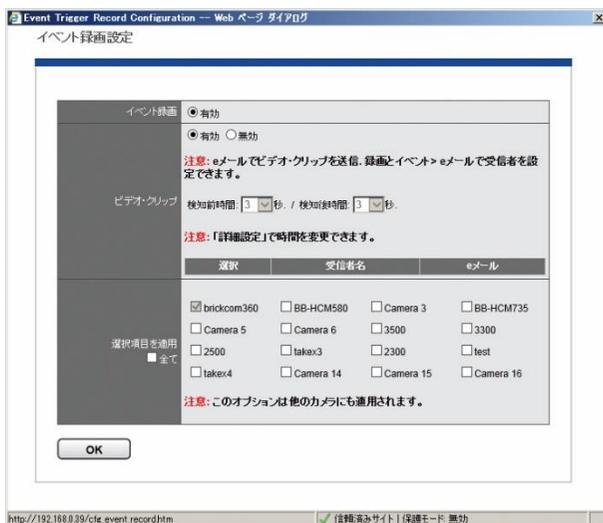
● イベント録画

イベント録画とビデオ・クリップの 2 種類があります。

イベント録画：イベントが発生すると 5 分間の映像を記録します。イベントが継続的に発生するとその間、録画も継続されます。

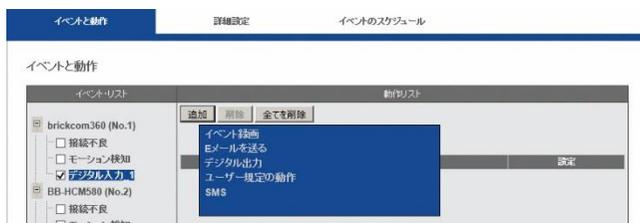
ビデオ・クリップ：E メールでビデオ・クリップを送信します。詳細設定で、イベント発生前後に記録する時間（秒数）を設定できます。

設定するカメラを選択したら「適用」をクリックします。



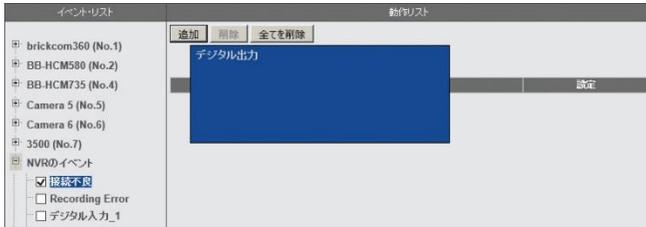
3. デジタル入力

「イベント録画」「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。カメラのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。



4. NVR のイベント：接続不良

「デジタル出力」を選択できます。NVR がネットワーク接続を失うと、この動作を行います。



5. NVR のイベント : 録画不良

「Eメールを送る」「SMS」から動作を選択できます。NVRが録画に失敗すると、この動作を行います。



6. NVR のイベント : デジタル入力

「イベント録画」「Eメールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。NVRのデジタル入力に信号が入ると、設定した動作を行います。



7. 外部イベント (HTTP-in)

「イベント録画」「E メールを送る」「デジタル出力」「ユーザー規定の動作」「SMS」から動作を選択できます。

外部の機器から NVR に対して HTTP-in CGI command が送信されると設定した動作を行います。全部で 5 種類の CGI command とそれに対応する動作を設定できます。

HTTP-in CGI command は次のように記述します：

```
http://<NVR_IP>/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_ipc.  
cgi&eventName=Defined_<int>
```

<NVR_IP>は、外部機器が NVR にアクセスできる IP アドレスです。

<int>は、外部イベントの番号 (1-5) です。

例：

```
http://192.168.1.245/login.cgi/cgi_main.cgi?cgiName=event_  
ipc.cgi&eventName=Defined_3
```

最後に「適用」をクリックして設定を保存します。

5.2.4 詳細設定

イベントと動作	詳細設定	イベントのスケジュール
詳細設定		
動作トリガー間隔	30 秒	
ビデオ・クリップ	右の秒数より前から録画開始 3 秒 (イベント前) 右の秒数後に録画停止 3 秒 (イベント後)	
録画モード	右の秒数より前から録画開始 30 秒 (イベント前) 右の秒数後に録画停止 30 秒 (イベント後)	
音声でイベント録画	<input type="checkbox"/>	

ヒント: 時「音声でイベント録画」を有効にすると、事件が発生するまで全てのカメラが録音しません。事件が停止すると、録音も停止します。録音の機能には影響しません。

適用 リセット

●動作トリガー間隔

この間隔内でトリガーが入ると連続的に動作を行います。

●ビデオ・クリップと録画設定

トリガーが入る前後それぞれ何秒間を録画するのを設定します。イベント発生前 300 秒間、イベント終了後 300 秒間まで設定できます。

●イベント録画のみオーディオ保存

この項目にチェックを入れると、通常はオーディオを保存しませんが、イベント発生時のみオーディオを保存します。イベントが終了すると自動的にオーディオは無効になります。

「適用」をクリックして設定を保存してください。

5.2.5 イベントのスケジュール

イベントを常時ではなく決められた時間帯のみ検知することができます。

イベント・スケジュールの設定

- 「イベントと動作の管理」でイベントと動作の設定を行います。
注意：イベントと動作は、自動的に「常時」モードの設定になります。
- 「イベントのスケジュール」タブをクリックします。



- スケジュールの設定を行います。
週単位、日単位どちらのスケジュールを組むのかを決めます。

● 日単位



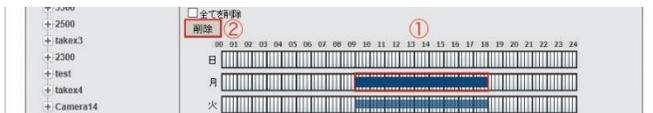
- カメラを選択します。
- 開始/終了時刻を設定します。
- 「挿入」をクリックします。
- グラフが表示されます。
- スケジュール一覧に結果が表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。

●週単位



1. スケジュールを適用する曜日を選択します。
2. 開始/終了時刻を設定します。
3. スケジュールを適用するカメラを選択します。
4. 「挿入」をクリックします。
5. グラフが表示されます。
6. スケジュール一覧に結果が表示されます。
「適用」をクリックして設定を保存します。

●スケジュールの削除



1. 削除したいグラフをクリックします。
2. 「削除」をクリックします。グラフとリストが同時に削除されます。
3. あるカメラのスケジュール全てを削除したい時は、グラフを選択した後で「全てを選択」にチェックを入れて「削除」をクリックします。
注意：スケジュールが全て削除された場合、「常時」イベントが動作することになります。

5.2.6 Eメール

「録画とイベント」の「Eメール」を選択してEメールに関する設定を行います。

▼ 録画とイベント
> 録画モード
> イベントと動作の管理
> Eメール

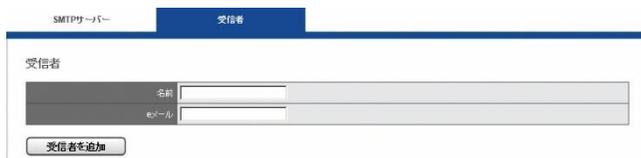
SMTP サーバー



- **サーバー・アドレス**：SMTP サーバーのアドレスを入力します。
 - **送信者**：送信者の E メール・アドレスを入力します。
 - **件名と本文**：メールの件名と通知文面を入力します。
 - **認証**：お使いになる SMTP サーバーに応じた認証形式を選択してください。
 - **ユーザー名とパスワード**：SMTP サーバーで使用する情報を入力します。
- 「適用」をクリックして完了するか、「テスト・メールを送信」をクリックして設定が有効かどうかを確認してください。

受信者

「受信者」タブをクリックして E メールを受信するアドレスを追加します。



「名前」と対応する「Eメール」を入力して「受信者を追加」をクリックしてください。追加すると「受信者リスト」に名前とアドレスが

表示されます。

「適用」をクリックして設定を保存します。

5.3 ディスク管理

RAID を新規作成する時、またディスク・ボリュームを削除したりフォーマットしたりする時はメニューの「ディスク管理」をクリックします。またこのページではファイル共有サービスの設定も行えます。

5.3.1 ディスク管理

「ディスク管理」メニューの「ディスク管理」を選択してください。

- ▼ ディスク管理
 - > ディスク管理
 - > ストレージ管理
 - > ファイル共有サービス

ディスク情報

HDD が 1 台も取り付けられていない時は、そのことを示すメッセージが表示されます。

ディスク・ボリュームの作成と削除についてはクイック設定のディスク管理 (2.3.5) を参照してください。

また、DIGIARRAY との接続設定に関してもこの項目を使用します。

5.3.2 ストレージ管理

「ディスク管理」メニューの「ストレージ管理」を選択してください。

- ▼ ディスク管理
 - > ディスク管理
 - > ストレージ管理
 - > ファイル共有サービス

HDD が 1 台も取り付けられていない時はそのことを示すメッセージが表示されます。ディスク・ボリュームが存在すればファイル・システム情報が表示されます。

ファイルシステム・リスト	ファイルシステム情報										
目: ファイルシステム・リスト ↳ Volume1 [1833.78 GB,RAID A]	<table border="1"> <tr><td>名前</td><td>Volume1</td></tr> <tr><td>容量</td><td>1833.78 GB</td></tr> <tr><td>使用容量</td><td>1382.35 GB, 75.38%</td></tr> <tr><td>デバイス</td><td>RAID A</td></tr> <tr><td>状態</td><td>マウント済み</td></tr> </table>	名前	Volume1	容量	1833.78 GB	使用容量	1382.35 GB, 75.38%	デバイス	RAID A	状態	マウント済み
名前	Volume1										
容量	1833.78 GB										
使用容量	1382.35 GB, 75.38%										
デバイス	RAID A										
状態	マウント済み										

ファイル・システム情報では、ディスク・ボリュームの容量、使用している容量、HDD の状態などが表示されます。

5.3.3 ファイル共有サービス

「ディスク管理」メニューの「ファイル共有サービス」を選択してください。

- ▼ ディスク管理
 - > ディスク管理
 - > ストレージ管理
 - > **ファイル共有サービス**

DIGISTOR が対応しているファイル共有サービスには「Windows ネットワーク」と「FTP」の二つがあります。

情報	Windowsネットワーク	FTPサービス	
サービス・リスト	状態	動作	リンク
Windowsネットワーク	ON	無効	リンク
FTPサービス	ON	無効	リンク

1. 情報

ファイル共有サービスの状態と有効／無効の切り換え、FTP 及び共有フォルダを開くことができます。

2. Windows ネットワーク

サービスの有効／無効の切り換え、コンピューター名の変更などを行います。

情報 Windowsネットワーク FTPサービス

Windows設定

サービス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
コンピュータ名	DS-20107aaa767c
コンピュータの説明	NVR
ドメインまたはWorkgroup名	Surveillance

3. FTP サービス

サービスの有効／無効の切り換え、使用するポートの変更などを行えます。

情報 Windowsネットワーク FTPサービス

FTP設定

サービス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
コマンドポート	21
パッシブポート	1024 ~ 65536

注意: ポート1234~1362とその他一部のポートはシステムがリザーブしています。

5.3 クラウド

DIGISTOR は録画ファイルを Dropbox にアップロードしてバックアップを取る機能を持ちます。アップロードした録画ファイルはそのリンクを共有できます。

「クラウド」メニューの「Dropbox」を選択して設定を行います。



注意：本機能は Dropbox のアカウントを有しており、サービスの内容を熟知している方のみご利用ください。

5.4.1 Dropbox の設定

「適用」をクリックして Dropbox の設定を開始します。



Dropbox にログインするためのユーザー名とパスワードを入力するウィンドウが表示されます。



Dropbox に NVR を登録するため、再度パスワードを入力するウィンドウが表示されます。



登録が完了すると、Dropbox 内に自動的に「Dropbox」という名称のフォルダーが自動的に作成されます。



設定が完了すると設定ページの表示が次のように変更されます。Dropbox 設定を削除したい時は「適用」をクリックしてください。



5.4.2 Dropbox サーバーへの共有ファイルの移動

「Public (snapshot、設定ファイルなど)」「Videodata1 (録画ファイルとビデオ・クリップ)」フォルダー内のファイルを「Dropbox」フォルダーへ移動させることで、そのファイルをクラウドで共有できます。

5.4.3 設定の削除とオンライン同期

キーボードの「F5」ボタンを押すと画面が再読み込まれ、次の情報が表示されます。

設定の開始	
動作	設定とデータの削除
<input type="button" value="適用"/>	

オンライン同期	
有効	<input checked="" type="checkbox"/> Dropbox フォルダ
状態	Updating 1 file (16 secs left) Downloading 1 file (0,568 KB/sec, 16 secs left)
<input type="button" value="適用"/>	

1. 設定とデータの削除

「適用」をクリックすると、NVR 内の Dropbox に関する情報と Dropbox フォルダ内のデータが削除されます。

2. オンライン同期

NVR が自動的に Dropbox サーバーと同期するのかが設定できます。同期させる時は「有効」にチェックを入れて「適用」をクリックします。無効にしたい時はチェックを外して「適用」をクリックします。

Dropbox フォルダ

Windows ネットワークを用いて直接「Dropbox」を開くことも可能です。

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 ネットワークのセットアップ

「ネットワーク」のメニューから「ネットワーク設定」を選択してください。

- ▼ ネットワーク
 - > ネットワーク設定
 - > ネットワークサービス
 - > DDNS

1. 情報

コンピューター名、IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイ、プライマリ及びセカンダリ DNS 情報を表示します。

情報	設定	ポート設定
LAN 1		
コンピューター名	DS-20107aa8767c	
IP アドレス	192.168.0.39	
サブネット・マスク	255.255.255.0	
デフォルト・ゲートウェイ	192.168.0.1	
プライマリ・DNSサーバー	192.168.0.1	
セカンダリ・DNSサーバー		

2. 設定

DIGISTOR はデュアル IP アドレスを設定できます。お使いのネットワークに合わせて IP アドレスを使い分けることが可能です。

⚠ 注意：デュアル IP アドレスに対応しているのは DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)シリーズと DS-8200-RM Pro(+)シリーズです。



共有 IP

ネットワーク設定	
ネットワークインターフェイス	<input checked="" type="radio"/> 共有 IP <input type="radio"/> 固有 IP
LAN 1	
コンピュータ名	DS-20107ame767c
インターネットプロトコル	<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に割り付け <input type="radio"/> 特定のIPアドレスを使用
IPアドレス	192.168.1.245
サブネットワーク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

コンピュータ名の変更、DHCP または固定 IP の設定を行えます。

● **DHCP** : ネットワーク内の DHCP サーバーから自動的に IP アドレスが割り振られる設定です。

● **固定 IP** : DHCP サーバーが存在しない時、DIGISTOR の初期 IP アドレスは「192.168.1.245」になります。お使いになるネットワークの環境に合わせて IP アドレスを変更してください。同一ネットワーク内に複数の DIGISTOR が存在する時は、それぞれ異なる IP アドレスを持つように設定してください。

固有 IP

ネットワーク設定	
ネットワークインターフェイス	<input type="radio"/> 共有 IP <input checked="" type="radio"/> 固有 IP
LAN 1	
コンピュータ名	DS-20107ame767c
インターネットプロトコル	<input checked="" type="radio"/> IPアドレスを自動的に割り付け <input type="radio"/> 特定のIPアドレスを使用
IPアドレス	192.168.1.245
サブネットワーク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNSサーバー	192.168.1.1
セカンダリDNSサーバー	

LAN1 と LAN2 で異なるネットワーク設定を用いる場合は「固有 IP」を選択してください。

3. ポート設定

初期設定は「80」です。DIGISTOR にアクセスする際に使用する HTTP ポートを設定してください。

5.5.2 ネットワーク・サービス

「ネットワーク」メニューから「ネットワーク・サービス」を選択してください。

- ▼ ネットワーク
 - > ネットワーク設定
 - > ネットワーク・サービス
 - > DDNS

1. 禁止/許可リスト

禁止/許可リスト

UPnP

禁止/許可リスト

オプション 許可リスト 禁止リスト

IP範囲 追加 to

No.	IPアドレス	アクセス	削除
-----	--------	------	----

適用 リセット

禁止リストまたは許可リストを有効にします。いずれの場合も、本当に有効にするかどうかを確認するウィンドウが表示されます。その後、禁止または許可する IP アドレスを入力してください。

禁止リストを有効にした場合、登録された IP アドレスから本製品へのアクセスが禁止されます。

許可リストを有効にした場合、登録された IP アドレスからのみ本製品へのアクセスが許可されます。

2. UPnP

禁止/許可リスト

UPnP

UPnP

有効

UPnP名 DS-20107aaa767c (最大文字数: 32文字)

適用 リセット

UPnP の有効/無効を切り換えられます。また UPnP で使用するコンピューター名を変更できます (半角英数で最大 32 文字)。

5.5.3 DDNS

The screenshot shows the DDNS configuration interface. At the top, there are radio buttons for selecting a service: ipcam.jp, nwcam.jp, DynDNS, and no-ip. Below this, there are two identical sections for configuring a service. Each section starts with a '有効' (Enabled) checkbox, which is currently unchecked. The first section is for 'ipcam.jp' and the second is for 'nwcam.jp'. Each section contains four input fields: '更新サーバー' (Update Server) with the value 'www.ipcam.jp' (limit: 64 characters), 'ユーザ名' (Username) (limit: 128 characters), 'パスワード' (Password) (limit: 64 characters), and 'Host Name' (limit: 128 characters).

DDNS (Dynamic Domain Name Service) とは、固定 IP を使ってインターネット経由で NVR にアクセスする代わりに、動的 IP とドメイン名とをリンクさせ、そのドメイン名を使ってアクセスするサービスです。DIGISTOR が対応している DDNS は、①ipcam.jp、②nwcam.jp、③DynDNS、④No-IP です。

DDNS の設定を行う前に、必要な情報を DDNS プロバイダーから取得してください。

This screenshot shows the same DDNS configuration page, but with the 'ipcam.jp' service selected (radio button checked) and the '有効' checkbox checked. The input fields are now populated with example data: '更新サーバー' is 'www.ipcam.jp', 'ユーザ名' is '001', 'パスワード' is 'abcdefgh', and 'Host Name' is 'digistor'. The text '001', 'abcdefgh', and 'digistor' is highlighted in red in the original image.

cam.jp のサービスを利用している場合、「サービス」の ipcam と「有効」にチェックを入れ、プロバイダーから与えられた情報（ユーザー名：001、パスワード：abcdefgh、Host Name：digiever）を入力してください。DIGISTOR は ipcam.jp の DDNS サーバーに動的 IP アドレスの情報を送り、「digiever.ipcam.jp」のドメイン名とリンクさせます。

ユーザーは IP アドレスに関係なく、「digiever.ipcam.jp」で NVR にアクセス可能になります。

5.6 管理

「管理」設定ページでは、ユーザーの追加や権限の編集、NVR に保存されているログの確認、バックアップや接続している外部機器の管理を行うことができます。

- ▼ 管理
 - > ユーザー管理
 - > ログ・システム
 - > 設定の保存/読み込み
 - > USBバックアップ
 - > リモートバックアップ
 - > 外部IOデバイス
 - > UPS管理
 - > フェイルオーバー機能
 - > SNMP
 - > Modbus IO Device
 - > Access Control

5.6.1 ユーザー管理

「管理」メニューから「ユーザー管理」を選択してください。DIGISTOR には複数のユーザーが同時にアクセスできます。工場出荷時は管理者である「admin」のみユーザーとして登録されています。管理者はユーザーを新規作成できます。ユーザーには「Power User」と「User」の2グループがあり、「Power User」は一部の設定変更が可能です。「User」も設定ページへ移動できますが自分のパスワードしか変更できません。

1. ユーザーの作成

●Power User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「Power User」を選択してください。ライブ映像と録画再生に関する権限は、自動的に全てのカメラに対して適用されます。

「適用」をクリックしたらユーザーが作成され、「リスト」に表示されます。

●User

ユーザー名（半角英数字 15 文字以内）とパスワード（同）を入力し、「グループ」メニューから「User」を選択してください。ライブ画像と録画再生に関する権限を設定します。チェックに入ったカメラのみ、

ライブ映像及び録画再生が可能になります。

「適用」をクリックしたらユーザーが作戦され「リスト」に表示されます。

ユーザー管理

ユーザーの作成 ユーザーの変更 パスワードの変更 詳細設定

ユーザーリスト

No.	名前	グループ	Eメール	Expiry day	ライブ表示	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生	スナップショット	映像のエクスポート
1	user	user			1	O	X	X	1	O	O
2	opp	user			1	X	X	X	0	X	X

ユーザーの作成

ユーザ名	<input type="text"/>	有効期限	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>	ランダムパスワード	<input type="checkbox"/>
グループ	パワーユーザー	Eメール	<input type="text"/>
ライブ映像	<input type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> Channel 1 <input type="checkbox"/> Camera 2 <input type="checkbox"/> Camera 3 <input type="checkbox"/> 581 <input type="checkbox"/> Channel 5		
録画再生	<input type="checkbox"/> PTZ制御 <input type="checkbox"/> IO制御 <input type="checkbox"/> マルチサーバー <input type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> Channel 1 <input type="checkbox"/> Camera 2 <input type="checkbox"/> Camera 3 <input type="checkbox"/> 581 <input type="checkbox"/> Channel 5 <input type="checkbox"/> スナップショット <input type="checkbox"/> 映像のエクスポート		

2. ユーザーの変更

「ユーザーの変更」タブをクリックしてください。

Userの権限変更を行う時は適宜変更して「適用」をクリックします。
登録しているユーザーを削除する時はリストで選択して「削除」をクリックします。

ユーザー管理

ユーザーの作成 **ユーザーの変更** パスワードの変更 詳細設定

ユーザーリスト

No.	名前	グループ	Eメール	Expiry day	ライブ表示	PTZ	IO	マルチサーバー	録画再生	スナップショット	Export Video	削除
1	user	user			1	O	X	X	1	O	O	<input type="button" value="削除"/>
2	opp	user			1	X	X	X	0	X	X	<input type="button" value="削除"/>

3. パスワードの変更

「パスワードの変更」タブをクリックしてください。
「ユーザー名」で変更したいユーザー名を選択し、新しいパスワードを入力します。

ユーザー管理

ユーザーの作成 ユーザーの変更 **パスワードの変更** 詳細設定

パスワード設定

ユーザー名: admin

新しいパスワード: (最大文字数: 15 文字)

パスワードの再入力:

ランダムパスワード:

Eメール:

5.6.2 ログ・システム

「管理」メニューから「ログ・システム」を選択してください。必ずディスク・ボリュームを作成してから本機能をお使いください。
DIGISTOR が保存するログには次の 6 種類があります: ハードウェア・ログ、NVR ログ、イベント・ログ、現在のユーザー、ユーザー履歴、アクセス履歴。

●ハードウェア・ログ

RAID の作成、RAID の削除、RAID の修正、CPU、ブザー、ファン、システム、センサー、USB に関する情報が記録されます。

ハードウェア・ログ NVR ログ イベント・ログ

現在のユーザー ユーザー履歴 アクセス履歴

ハードウェア・ログ・リスト

日付: All レベル: All ページ: 1 << < > >> 表示件数: 20 Save

日付と時間	レベル	メッセージ
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable buzzer notice.
2014/03/19 21:47:53	notice	[HW] enable fan control.
2014/03/19 21:47:53	info	[HW] System is starting to work.

●NVR ログ

タイム・ゾーン、夏時間、システム、ファームウェアのアップグレード、IP 設定、録画ファイルのエクスポート、ストレージに関する情報が記録されます。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

NVRログ									
日付	All	レベル	All	ページ	1	<< < > >>	表示件数	20	Save
日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	メッセージ					
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export to file.					
2014/03/21 14:09:27	notice	admin	58.191.231.68	[NVR] Remote Playback Export during 2014-03-21 15:00 to 2014-03-21 16:00.					

●イベント・ログ

カメラの接続、カメラの接続不良、デジタル入力、モーション検知、ストレージ使用制限超過などの情報が記録されます。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

イベント・ログ											
日付	All	レベル	All	カメラ	All	ページ	1	<< < > >>	表示件数	20	Save
日付と時間	レベル	番号	メッセージ								
2014/03/25 12:48:59	notice	1	[Event] Motion detected.								
2014/03/25 12:45:26	notice	1	[Event] Motion detected.								

●現在のユーザー

現在、NVR にログインしているユーザーの情報を表示します。

ハードウェアログ	NVRログ	イベントログ
現在のユーザー	ユーザー履歴	アクセス履歴

現在のユーザー				
日付と時間	アカウント	IPアドレス	メッセージ	
2014/03/25 12:51:40	admin	192.168.0.51	[CurUSER] Access /cfg_management_log_currentuser.htm	

●ユーザー履歴

NVR にログインしたユーザー情報が記録されます。

ハードウェアログ NVRログ イベントログ

現在のユーザー **ユーザー履歴** アクセス履歴

ユーザー履歴

日付[All] レベル[All] ページ1 << < > >> 表示件数[20] Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ
2014/03/25 12:51:40	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 12:51:39	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login
2014/03/25 11:59:32	info	admin	192.168.0.51	HTTP	[USER] Login

● アクセス履歴

SAMBA や FTP を使って NVR にアクセスした情報が記録されます。

現在のユーザー ユーザー履歴 **アクセス履歴**

接続ログ

日付[All] レベル[All] ページ1 << < > >> 表示件数[20] Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

ログ・ファイルのエクスポート

ログ・ファイルをエクスポートして保存することができます。ログごとにファイルが作成されます。html または txt 形式でエクスポートできます。

現在のユーザー ユーザー履歴 **アクセス履歴**

接続ログ

日付[All] レベル[All] ページ1 << < > >> 表示件数[20] Save

日付と時間	レベル	アカウント	IPアドレス	方式	メッセージ	状態
2014/03/24 18:35:02	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 18:05:07	info	admin	192.168.0.51	SAMBA	[SYSCON] Login	Pass
2014/03/24 17:55:40	info	admin	192.168.0.51	FTP	[SYSCON] Login	Pass

5.6.3 設定の保存と読み込み

「管理」メニューから「設定の保存／読み込み」を選択してください。



● 設定の保存

ボリュームとフォルダーをメニューから選んで保存先を決めます。またファイル名（拡張子は cfg）を決めてください。

設定を保存

ボリューム	devmd0
フォルダー	Public
ファイル名	_____ .cfg
備考	カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、eメール設定、サーバー設定が保存されます。

注意: 設定ファイルにはカメラ設定、録画設定、イベントと動作設定、Eメール設定、サーバー設定が含まれます。設定ファイルは NVR 内の共有フォルダーに保存されます。Windows ネットワークまたは FTP サービスを使えば、PC から設定ファイルにアクセスできます。

● 設定の読み込み

設定ファイルを読み込むことで、別の NVR の設定をコピーすることができます。

設定の読み込み

設定方法	<input checked="" type="radio"/> 初期設定に戻す <input type="radio"/> 設定の読み込み
ボリューム	devmd0
フォルダー	Public
ファイル名	_____ .cfg
備考	カメラ設定、録画設定、イベントと動作の設定、eメール設定、サーバー設定を読み込みます。

「初期設定に戻す」を選択すると、カメラ設定、録画設定、イベントと動作、Eメール設定、サーバー設定が初期値に戻ります。

「設定の読み込み」を選択して cfg ファイルを選択して「適用」をク

リックすると、設定が書き換えられます。

5.6.4 USB バックアップ

NVR 本体正面の USB ポートに USB ストレージを接続し、バックアップ・ボタンを 3 秒間以上押し続けると自動バックアップが始まります。その自動バックアップの設定は、「USB バックアップ」で変更できます。



バックアップ中は、USB インディケータが青色で点滅します。バックアップが完了するとインディケータは消灯します。

注意： USB バックアップ機能が使用できないなどエラーが発生すると、USB インディケータは赤色で点灯します。

注意： USB ストレージをフォーマットすると FAT32 ファイル・システムになります。

- ① ここにチェックを入れると USB バックアップ・ボタンが使用可能になります。
- ② ボタンを押した日時を含む何時間何日前からの録画ファイルをバックアップするのを設定します。
- ③ バックアップ・ボタンを押した時、録画ファイルをバックアップするカメラを選択します。選択されなかったカメラの録画データはバックアップされません。
- ④ USB バックアップ用のポートを図示しています。
- ⑤ 最後に「適用」をクリックすると設定が反映されます。



1. USB バックアップ

USB ストレージを NVR 本体正面の USB ポートに接続すると、「デバイス情報」に USB ストレージの情報が表示されます。



USB ストレージが「準備完了」になると、USB インディケータは青色で点灯します。バックアップを開始すると、状態が「作業中」となり、情報にはコピー中のファイル数が表示されます。

USB ストレージを初期化する時は「フォーマット」ボタンをクリックします。

注意：USB バックアップ・ボタンを有しているのは DS-2000 シリーズ、DS-4000 シリーズ、DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)シリーズ、DS-8200-RM Pro(+)シリーズです。

注意：録画ファイルとともに NVRPlayer と NVRCheck がダウンロードされます。

2. DVD へのバックアップ

USB 接続できる DVD ドライブを NVR に接続し、正常に認識されると、USB インディケータは青色で点灯して「状態」が準備完了になります。



注意:DVDドライブに対応しているのはDS-4200 Pro(+)
シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)
シリーズ、DS-8200-RM Pro(+)
シリーズのみです。

注意:DVDドライブ内にDVDメディアが挿入されていない時はUSB機器として認識されません。

注意:DVDドライブに対してバックアップが行われると、録画ファイルとともにNVRPlayerとNVRCheckがDVDにコピーされます。

注意:ロジテックINAソリューションズ株式会社ポータブルDVDドライブ「LDR-PMG8U2LBK」で動作確認を行っております。

3. 詳細設定

録画ファイルをエクスポートする際、パスワードによる保護を行えます。録画ファイルは設定に基づき、パスワードつきzipファイルもしくは、独自ファイル（※開発中）にて圧縮されます。

注意:この機能に対応しているのはDS-4200 Pro(+)
シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)
シリーズ、DS-8200-RM Pro(+)
シリーズのみです。

注意:パスワードによる保護を行えるのはエクスポート時のみです。バックアップ・ボタンを用いた時はパスワードによる保護は行われません。該当欄にチェックを入れた後、「適用」をクリックしてください。

※zipファイルを解凍する時、バックアップ時に決めたパスワードを使用し解凍を行ってください。

5.6.5 リモートバックアップ

- リモートデバイス設定

専用 NAS を使用しローカル LAN で自動的にバックアップを行うことができます。

※リモートデバイスの IP アドレス及び、リモートのパスを入力してください。

リモートバックアップ

リモートデバイス	録画スケジュール
設定	
リモートデバイスのIPアドレス	<input type="text"/>
リモート先のパス	<input type="text"/>
空き容量/合計	-
状態	Disconnected

ヒント: リモートバックアップを行う際、はじめにリモートデバイスのNFSのパス・フォルダ・権限等の設定を行ってください。

アーカイブ情報

タスクID	NVR ID	Mode	タスクの開始	タスクの停止	状態	データ容量	タスクが停
-------	--------	------	--------	--------	----	-------	-------

- 録画スケジュール (※バックアップスケジュール)
バックアップのスケジュールを設定することができます。

リモートバックアップ

リモートデバイス	録画スケジュール
Video	
曜日	<input checked="" type="checkbox"/> Sun <input checked="" type="checkbox"/> Mon <input checked="" type="checkbox"/> Tue <input checked="" type="checkbox"/> Wed <input checked="" type="checkbox"/> Thu <input checked="" type="checkbox"/> Fri <input checked="" type="checkbox"/> Sat
時間	Start Time: 0:00 h 0:00 m End Time: 0:00 h 00:00 m
カメラの選択	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input checked="" type="checkbox"/> Cam 1 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 2 <input checked="" type="checkbox"/> Camera 3 <input checked="" type="checkbox"/> 581
録画タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="checkbox"/> Normal <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> Video Clip
タスク	<input checked="" type="checkbox"/> バックアップスケジュール Start Time: 0:00 h 0:00 m End Time: 0:00 h 0:00 m
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="バックアップ開始"/> <input type="button" value="バックアップ停止"/>	

5.6.6 外部 IO デバイス

AXIS 製 P8221 を NVR に登録して、その外部入出力を利用することができます。「管理」メニューから「外部 IO 機器」を選択してください。

- ▼ 管理
 - > ユーザー管理
 - > ログ・システム
 - > 設定の保存/読み込み
 - > USBバックアップ
 - > 外部IOデバイス
 - > UPS管理

機器名称、IP アドレス、ユーザー名、パスワードを入力して「検出」をクリックしてください。ネットワーク上に設定した機器があれば登録されます。「メーカー」と「型番」は自動で表示されます。「適用」をクリックして保存します。

デバイス設定

デバイス番号	Device 1	
デバイス名	<input type="text"/>	
IPアドレス	<input type="text"/>	ポート 80
管理者名	<input type="text"/>	パスワード <input type="text"/>
メーカー	<input type="text"/>	型番 <input type="text"/>

リスト

No.	デバイス名	IPアドレス	ポート	メーカー	型番	削除
1			80			

リストには登録された機器の名称、IP アドレス、ポート番号、メーカー名、型番が表示されます。登録された機器に応じて、「イベント」タブ内にイベント・リストが表示されます。

- ▼ 管理
 - > ユーザー管理
 - > ログ・システム
 - > 設定の保存/読み込み
 - > USBバックアップ
 - > 外部IOデバイス
 - > UPS管理

5.6.7 UPS 管理

UPS を用いて NVR の電源を管理できます。「管理」メニューから「UPS 管理」を選択してください。

⚠ 注意： DIGISTOR シリーズが対応している UPS はユタカ電機製作所の常時インバーター・モデル「UPS510SS」と「UPS1010SS」です。

The screenshot displays a web-based interface for managing a UPS. At the top, a blue header reads 'UPS情報'. Below it, a message states 'UPSデバイスが存在しません。' (No UPS device exists). The main content is divided into two sections: 'UPSデバイスの情報' (UPS Device Information) and 'UPS管理の設定' (UPS Management Settings). The information table lists: メーカー (Manufacturer) as YEC, 型番 (Model) as UPS510SS, 電源の状態 (Power Status) as ON, バッテリー容量 (Battery Capacity) as 100%, and 推定/バッテリー保護時間 (Estimated/Battery Protection Time) as -. The settings section includes a checkbox for '有効' (Enabled) which is checked, and a text field for 'UPS動作' (UPS Operation) with the value 'UPSのバッテリー容量が ___% になったら [50] %、NVRは自動的にシャットダウンを行います。' (When the UPS battery capacity reaches ___%, NVR will automatically shut down). A '適用' (Apply) button is located at the bottom left.

UPSデバイスの情報	
メーカー	YEC
型番	UPS510SS
電源の状態	ON
バッテリー容量	100%
推定/バッテリー保護時間	-

UPS管理の設定	
UPS動作	<input checked="" type="checkbox"/> 有効 UPSのバッテリー容量が ___% になったら [50] %、NVRは自動的にシャットダウンを行います。

● UPS 機器情報

メーカー名、型番、AC 電源の状態、バッテリーの容量、予想保護時間が表示されます。予想保護時間はモニタリングのみ行っている状態が基準です。

● UPS 管理設定：スマート・シャットダウンと復旧

「有効」にチェックを入れ、UPS のバッテリー容量がどれだけになったら NVR がスマート・シャットダウンを行うのか設定します。この機能を用いると、停電になり、UPS のバッテリーが指定の容量に達しても停電が復旧しないと、NVR はスリープ・モードでシャットダウンします。UPS のバッテリー容量が指定値を上回ると (= 停電から復旧すると) NVR は自動的に起動します。

5.6.8 フェイルオーバー

● フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定 詳細設定

NVR No.	1			
NVR名	NVR1			
IPアドレス	192.168.0.	ポート	80	
管理者名	admin	パスワード	*****	

NVRリスト

No.	NVR名	IPアドレス	ポート	削除
1			80	
2			80	
3			80	
4			80	

ヒント: NVRのフェイルオーバーサーバーは設定された時間に同期を行います。

● 詳細設定

フェイルオーバーの切り替えタイミングの設定を行えます。

フェイルオーバー設定

フェイルオーバー設定 詳細設定

詳細設定

フェイルオーバーの切り替え (最大:10,最小:3)

ヒント: フェイルオーバーサーバーは、指定分間ごとにNVRの状態を確認します。
ヒント: フェイルオーバーサーバーは、設定されたサーバーに対して定期的に確認を行い、異常があった場合、フェイルオーバーの機能を動作します。

5.6.9 SNMP

● SNMP 設定 (開発中の機能です。)

5.6.10 パトライト(Beta 版の機能です。)

● パトライト設定

5.7 システム

5.7.1 デバイス情報

「システム」メニューから「デバイス情報」を選択します。

- ▼ システム
 - > デバイス情報
 - > システムのアップグレード
 - > 言語
 - > 日付と時間
 - > ブザー
 - > 再起動とシャットダウン

● システム情報

オペレーティング・システム、OSバージョン、NVRバージョン、CPU、ネットワーク・アダプター、MAC アドレス、ネットワーク・フロー情報を表示します。

● 位置確認：

ボタンをクリックすると 3 秒間、NVR 本体からブザーが鳴ります。複数の DIGISTOR を運用している時など、位置を特定するのに便利です。

情報	
型番	NVR-4116
ファームウェアバージョン	2.1.1.50-1
MACアドレス	20 10 7a ae 76 7c, 20 10 7a ae 76 7d
OS	Embedded Linux
OSバージョン	Linux version 3.2.29
CPU	Intel(R) family
ネットワークアダプター	Gigabit Ethernet Card 10/100/1000 Mbps
位置確認	位置確認

● エンクロージャー情報

CPU の温度、ファンの状態などが表示されます。

注意： NVR の動作環境は 0～40 度です。

Temperatures	
CPUの温度	49 °C
VRMの温度	48 °C
システムの温度	38 °C

ファンの回転速度	
CPUのファン	1708 RPM
システムのファン 1	952 RPM
システムのファン 2	1814 RPM

5.7.2 システムのアップグレード

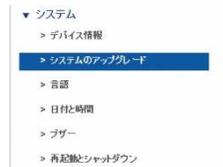
ブラウザを用いて、またはローカル・ディスプレイを操作して、NVR のファームウェアをバージョン・アップできます。

注意：お使いの NVR のシリーズに応じたファームウェア・ファイルをご用意ください。

注意：バージョン・アップは必ず順番に行ってください。バージョンを飛ばしてアップデートするとカーネル情報が更新できず、システムが正常に起動しないことがあります。また 40 台のバージョンから 50 台にアップデートする時は、ディスク・ボリュームを一度削除して再作成する必要があります。

1. ブラウザを用いたアップグレード

- (1) 新しいバージョンのファームウェアを www.digiever-j.com からダウンロードして、PC に保存してください。
- (2) ダウンロードしたファイルを解凍します。
- (3) 「設定」ページへ移動し、「システム」メニューから「システムのアップグレード」を選択します。
- (4) 「参照」をクリックして保存したファームウェア・ファイルを指定します。



- (5) 「アップグレード」をクリックしてファームウェアの更新を行います。システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。
(※念のためアップグレード前に録画装置の再起動をお願いします。)

2. ローカル・ディスプレイを操作してのアップグレード

注意：ローカル・ディスプレイでのアップグレードは DS-8200-RM Pro(+) シリーズ、DS-4200-RM Pro(+)シリーズ、DS-4200 Pro(+)シリーズ、DS-2100 Pro(+)シリーズ、DS-1100 Pro(+)シリーズでの対応となります。

(1) 新しいバージョンのファームウェアを www.digiever-j.com からダウンロードして、PC に保存してください。

(2) ダウンロードしたファイルを解凍して USB ストレージに保存します。

注意：USB ストレージは FAT32 ファイル形式でフォーマットしてください。また作業を円滑にするため、「update.bin」ファイルのみ保存した状態にしてください。

FAT32 ファイル形式のフォーマット方法：

- I. 「マイコンピュータ」を開きます。
- II. USB ストレージ（フラッシュ・メモリー）を選択、右クリックして「フォーマット」を選択します。
- III. 「ファイル・システム」の「FAT32」を選択します。
- IV. 「開始」ボタンをクリックしてフォーマットを実行します。

(3) NVR にローカル・ディスプレイと USB ストレージを接続します。

(4) NVR とローカル・ディスプレイに電源を入れて NVR にログインします。

(5) 「設定」ページへ移動し、「システムのアップグレード」を選択します。接続した USB ストレージの「状態」が「準備完了」の表示ならアップグレードを実行できます。

- (6) システムのアップグレードが完了したら NVR は自動的に再起動します。「機器情報」メニューの「システム」から、NVR のファームウェア・バージョンを確認することができます。

5.7.3 言語

「システム」のメニューから「言語」を選択します。UI で表示する言語を選択して「適用」をクリックしてください。「AUTO」を選択すると、アクセスしている PC の情報に基づいて表示言語を自動選択します。

5.7.4 日付と時間

「システム」のメニューから「日付と時間」を選択してください。



●セットアップ

手動で設定する時は年月日と時刻を選択して「適用」をクリックしてください。

A screenshot of the '日付と時間' (Date and Time) configuration page. The page has a blue header with '設定' (Settings) and 'タイムゾーン' (Time Zone). Below the header, the title '日付と時間' is displayed. The configuration area contains several input fields: '年' (Year) with a dropdown menu showing '2014', '月' (Month) with a dropdown menu showing '9', '日' (Day) with a dropdown menu showing '26', and '時間' (Time) with three dropdown menus showing '15', '24', and '33'. At the bottom of the form, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'リセット' (Reset).

●タイム・ゾーン

使用している地域のタイム・ゾーンを選択します。また夏時間（サマータイム）が導入されている時は、同オプションを有効にします。

NTP サーバーと同期を取る場合は NTP サーバーの IP アドレスを設定します。

設定		タイムゾーン
タイムゾーン設定		
タイムゾーン	[GMT+09:00]Osaka, Sapporo, Tokyo	
	<input type="checkbox"/> 夏時間を自動で調整する	
外部のNTPサーバーと時刻同期	time.skttime.gov.tw	
NVRにビルトインされたNTPサーバー	192.168.0.39	
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/>		

NVR にビルトインされた NTP サーバー :

NVR を NTP サーバーとして利用することができます。システム内の全ての機器で時刻同期を行う場合に役立ちます。同メニューに表示された IP アドレスを NTP サーバーのアドレスとして、同期させたい機器を設定してください。

5.7.5 ブザー

「システム」のメニューから「ブザー」を選択してください。

- ▼ システム
 - > デバイス情報
 - > システムのアップグレード
 - > 言語
 - > 日付と時間
 - > ブザー
 - > 再起動とシャットダウン

警告時に使用するブザーのオン/オフを選択できます。オフにすると、デジタル出力時の動作である「ブザー」が実行されなくなります。

注意 :「USB バックアップ・ボタン」の長押しでブザーを停止することができます。

ブザー	
ブザー設定	
ブザー警告	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/>	

5.7.6 再起動とシャットダウン

「システム」のメニューから「再起動とシャットダウン」を選択してください。

「再起動」を選んで「適用」をクリックすると本体が再起動します。

「シャットダウン」を選んで「適用」をクリックするとシャットダウンします。

